

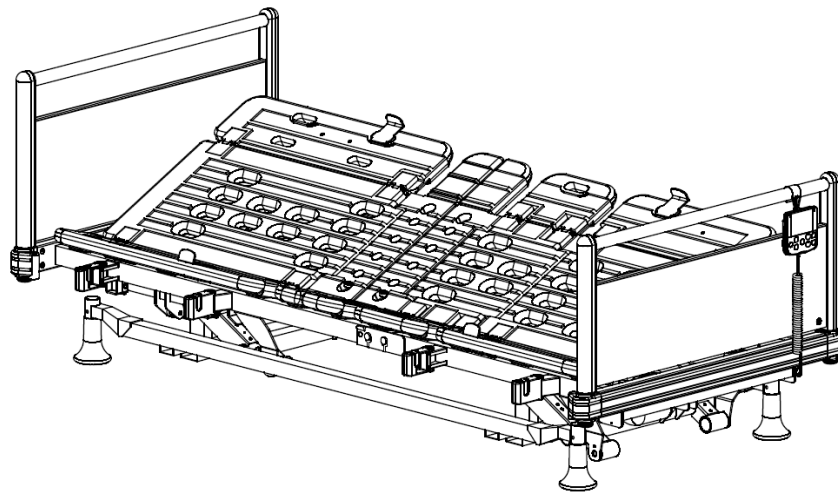
取扱説明書

自動寝返り支援ベッド

FBN-640

852461-8900

FBN-640 AN29JJ FBN-640 ANB29JJ FBN-640 ANT29JJ
 FBN-640 AN30M FBN-640 ANB30M FBN-640 ANT30M



まえがき

このたびはフランスベッドの製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。
 この取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくための、注意事項と使用方法を記載しています。
 組立・分解方法につきましては別途、組立説明書をご覧ください。

- 安全のため、必ずこの取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるように、所定の場所に保管してください。

ベッド本体以外の取扱商品について

- ベッド本体以外のベッド用グリップ等、オプション品については、オプション品に同梱されている取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるように、ベッド本体の取扱説明書といっしょに、所定の場所に保管してください。

		ページ
1.	安全のために必ずお守りください	3
2.	各部の名称	9
3.	ベッドの使用	10
1.	ベッド使用前の準備	10
2.	設定コントローラの取り付け方法	10
3.	オプション受けの使用方法	10
4.	手元スイッチ	11
5.	設定コントローラ	12
6.	3つの運転モード	13
7.	手元スイッチでの操作	13
8.	タイマーでの自動運転	18
9.	設定コントローラの画面の流れ	23
10.	状況別の操作手順例	27
4.	サイドレールとサイドレールカバー、 ベッド用グリップについて	31
1.	サイドレールの使用目的	31
2.	サイドレールカバーの使用目的	31
3.	ベッド用グリップの使用目的	31
4.	サイドレールとベッド用グリップの取り付け方法	31
5.	サイドレールカバーの取り付け方法	32
6.	適合するサイドレールとベッド用グリップ	32
7.	サイドレールとベッド用グリップの推奨取り付け位置	35
8.	サイドレールとベッド用グリップの注意事項	38
9.	ベッド用グリップ GR-510 の使用方法	41
10.	サイドレールとベッド用グリップのメンテナンス情報	44

5.	リフトの利用について	• • • • •	45
6.	マットレスについて	• • • • •	45
7.	仕様	• • • • •	46
8.	お手入れ方法	• • • • •	49
9.	点検	• • • • •	51
	1. 外観点検項目	• • • • •	51
	2. 作動点検項目	• • • • •	51
	3. 点検及び調整	• • • • •	52
10.	消耗部品	• • • • •	53
11.	耐用期間	• • • • •	53
12.	こんなときには	• • • • •	54
	1. チェック項目	• • • • •	54
	2. 角度、高さ表示のリセット	• • • • •	57
	3. エラーコード	• • • • •	58
13.	停電や故障で背や脚が起きたまま停止してしまったとき	• • • • •	59
14.	アフターサービスについて	• • • • •	61
15.	保証書	• • • • •	62






1. 安全のために必ずお守りください

絵表示について




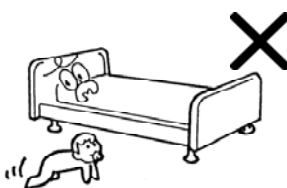

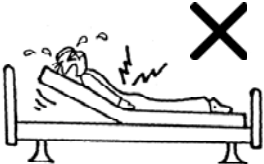

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、使用者への危害や財産への損害を未然に防止するために下記の絵表示をしています。

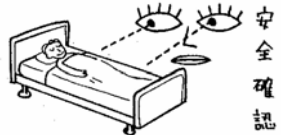
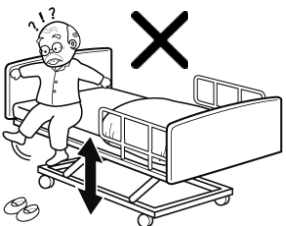


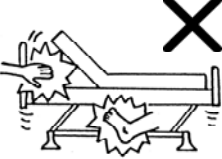



その指示と内容は、次のようになっています。











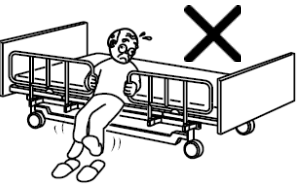

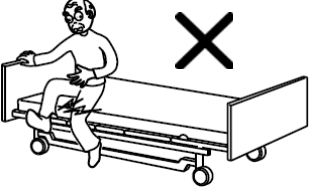

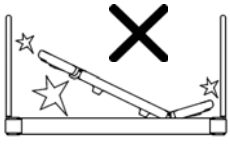


内容をよく理解してから本文を読んでください。

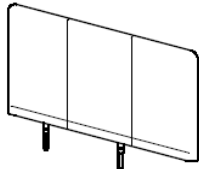

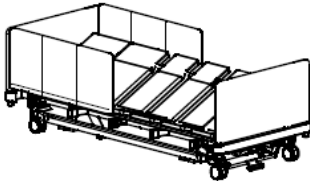

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が生命に関わるケガを負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (～しないでください)
	この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 (～してください)
	この記号は、絵表示に対する行為を禁止する内容を告げるものです。


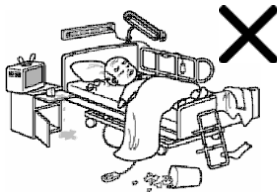






使用する時





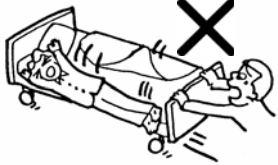


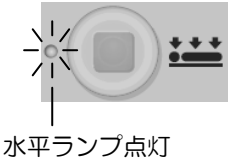

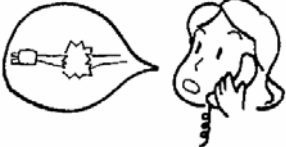

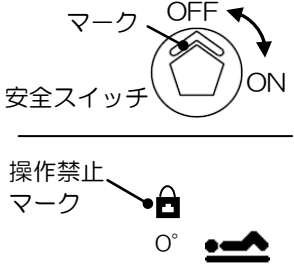


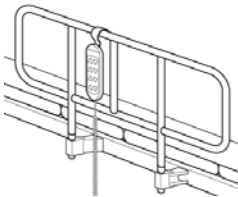

 警告		
症状によっては、ベッド操作（背上げ、脚上げ、昇降、寝返り）をすることにより、症状を悪化させる可能性があります。使用に際しては、医師の指示に従ってください。 事故の原因となります。		
子供をベッドの近くで遊ばせないよう注意してください。また、子供のいたずらに注意してください。手元スイッチは、子供の手の届かない場所に置いてください。 思わぬ事故の原因となります。		
背上げ操作は、寝ている人の頭がベッドの背上げ側にくるようにして、仰向けに寝た状態で行ってください。 これ以外の姿勢では、寝ている人の身体に負担がかかります。		



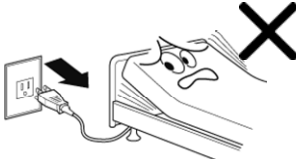

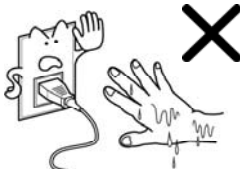

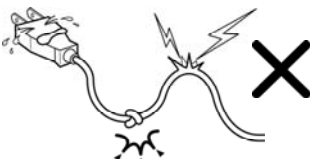






<p>手元スイッチでベッドの操作をする時には、使用者やベッド周辺、ベッドの下部、周辺の人やものの安全を確認するとともに、足元等にも注意しながら行ってください。また、なんらかの危険を感じた時には、すぐに操作を中止してください。特にサイドレール、ベッド用グリップを使用の際は十分に注意してください。</p> <p>人がケガをしたり、ものが破損するなど、事故の原因となります。</p>	 
<p>移乗させる際はベッドの高さを適切な高さに調節して使用してください。</p> <p>思わぬケガをするおそれがあります。</p>	
<p>ベッドの高さは適切な高さに調整して使用してください。端座位姿勢のとれる高さ、もしくは低めの位置での使用をおすすめします。また、付き添いの方がいない場合は、安全のため最も低い位置でのご使用をおすすめします。</p> <p>高さが合っていないと、乗り降りの際に転倒するおそれがあります。</p>	 
<p>手元スイッチのボタン操作が確実にできない人、または身体の状態などの変化により、ボタン操作が確実にできなくなるとされる人には、操作をさせないでください。</p> <p>誤った操作による事故の原因となります。</p>	
<p>このベッドは大人用です。12歳以下の子供、新生児、幼児などには使用させないでください。</p> <p>また取扱説明書、注意ラベル、警告ラベルの内容が理解できない人には使用させないでください。</p> <p>思わぬ事故の原因となります。</p>	 
<p>ベッドの下や、起き上がったボトムとフレームの間に身体やものを入れないでください。取扱説明書、注意ラベル、警告ラベルの内容が理解できない人が不用意に使用してしまう事が想定される場合は、挟み込み予防のため手元スイッチの安全スイッチをOFFにし、操作を禁止してください。</p> <p>挟まれてケガをするおそれがあります。</p>	 
<p>サイドレールやヘッドボード、フットボードに腰掛けるなど、必要以上の荷重を加えないでください。</p> <p>破損したり、ケガをするおそれがあります。</p>	 
<p>ベッドの上で飛び跳ねたり、背上げ、脚上げ、寝返り状態で立ったり、腰掛けたりしないでください。</p> <p>破損したり、ケガをするおそれがあります。</p>	 

<p>本製品は 1 人用です。2 人以上で使用しないでください。 重大な事故の原因になります。</p>		
<p>モーターの定格時間は 2 分です。それ以上は連続して使用しないでください。次に使用する時は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。 故障の原因となります。</p>		
<p>サイドレールやベッド用グリップのすき間にコード類を入れしないでください。 背上げなどベッドの操作をするときに、コード類を挟み、事故や破損の原因となります。</p>		
<p>ベッド以外の電気機器のコード類（電源コードなど）をベッドの下や中に通さないでください。 キャスターや可動部にコードがはさまれて破損し、火災・感電の原因となります。</p>		
<p>使用荷重は最大 1700N（約 170kg）です。（使用者の最大体重は約 135kg です）体重とマットレスと付属品を含めた荷重が 1700N を超えるときは、使用しないでください。 ベッドの破損や重大な事故の原因となります。</p>	<p>1700N 以下</p> 	
<p>ベッドおよびサイドレール、ベッド用グリップは、破損した状態で使用しないでください。 火災や事故の原因となります。</p>		
<p>サイドレールやベッド用グリップの間から無理に降りたり乗り越えたりすることは絶対にしないでください。 重大な事故の原因となります。</p>		
<p>ベッドから乗り降りする際は、ベッド本体のマット止めなどの突起物に衣類を引っ掛けないように注意してください。 ケガをするおそれがあります。</p>		
<p>寝返り動作で左右に傾斜しているボトムとフレームの間、ボトムとサイドレールの間に身体やものを入れないでください。 自動運転中は、特に注意してください。 挟まれてケガをするおそれがあります。</p>		
<p>自動運転は、使用者やベッド周辺の安全を確認の上行ってください。また自動運転開始後も定期的に安全確認を行ってください。 思わぬケガをするおそれがあります。</p>		

<p>初期設定されていますが、自動運転の設定値（角度や時間）は使用者によって異なります。医師の指示に従うなど、使用者の状態に合わせて設定内容を決めてください。</p> <p>使用者の状態に適正でない場合、症状等に悪影響を与える恐れがあります。</p>	
<p>手動運転(制限)モードの際は、安全のため必ず介助する方が手元スイッチの操作を行ってください。</p> <p>背上げた状態で寝返り動作するため、通常よりボトムとサイドレールの隙間が狭くなります。</p>	
<p>サイドレールを使用する際は、使用者の状態に合わせサイドレールカバーを取り付けて使用してください。</p> <p>隙間によりケガをする恐れがあります。</p>	 
<p>寝返り動作する際は、必ずサイドレールを取り付けた状態で行ってください。</p> <p>転落するなどの恐れがあります。</p>	 

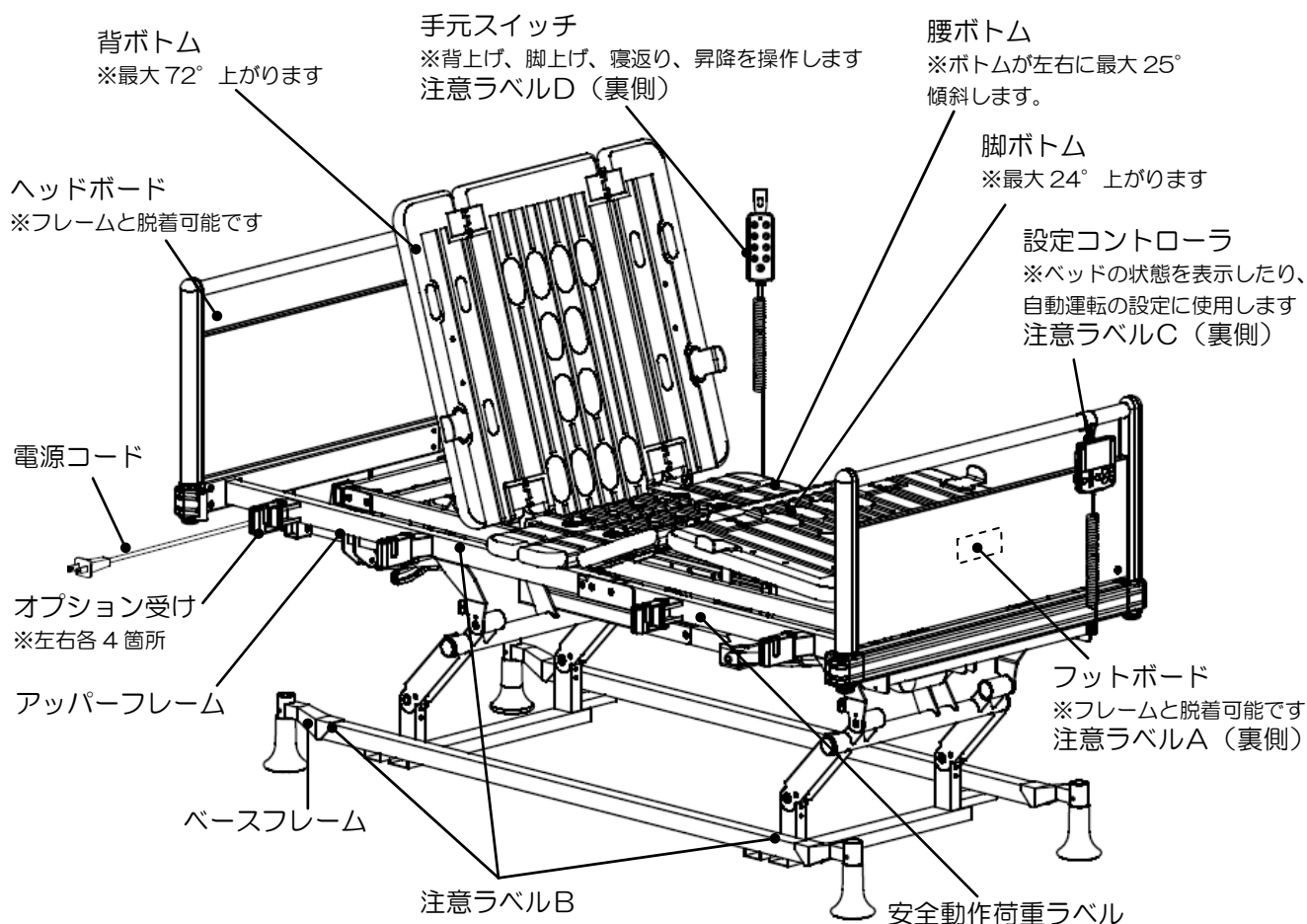
 注意	
<p>動作しないなど異常の時は、電源プラグをコンセントから抜き、本取扱説明書の「こんなときには」の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。</p>	
<p>ベッドの周辺を定期的に整理、整頓してください。</p> <p>ベッドの周辺が乱れていると思わぬケガの原因となります。</p>	 
<p>背上げ 15°、脚上げ 15° までは、自動運転可能です。自動運転する場合は、ボトムの左右傾斜を一旦水平に戻し、背上げ、脚上げの角度も 15° 以下に下げてください。</p>	
<p>電動操作を長期間行わないときや、停電、雷、地震の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>そのままにしておきますと、事故や故障の原因となります。</p>	
<p>電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らずに、必ず先端のプラグを持って抜いてください。</p> <p>コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。</p>	 
<p>ベッドを移動するときは電源プラグを必ず抜いてください。</p> <p>電源コードを破損する原因となります。</p>	 

<p>ベッドを移動するとき以外はキャスターをロックしてください。</p> <p>ロックが不十分だとベッドが不意に動いて思わぬケガの原因となります。</p>		
<p>ベッドを移動する場合は全てのキャスターをロック解除し、凹凸のある路面での走行はなるべく避けてください。</p> <p>キャスターやベッドの破損の原因となります。</p>		
<p>人をのせて移動される場合は、サイドレールを取り付けて、できるだけゆっくりと移動してください。</p> <p>転落してケガの原因となります。</p>		
<p>頭側もしくは脚側から介助する場合は、必ずヘッドボード、フットボードを取り外してから行ってください。</p> <p>ヘッドボード、フットボードに負荷がかかり、ベッドが破損するおそれがあります。</p>		
<p>ベッドを移動する場合は、ボトムを水平な状態にしてから行ってください。手元スイッチの水平ランプが点灯している時、水平な位置となります。</p> <p>転落してケガの原因となります。</p>		
<p>電源コードが傷んだり（芯線の露出、断線など）、ベッドが動かないなど、異常の時は電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>		
<p>手元スイッチでの操作を禁止する場合は、裏面の安全スイッチを「OFF」にするか、手元スイッチを取り外してください。</p> <p>各動作を個別に禁止する場合は、設定コントローラで操作禁止の設定を行ってください。</p> <p>無意識にボタンに触れて誤動作するおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。</p>		
<p>手元スイッチのボタンは、必要な操作に合わせて1つずつ押してください。</p> <p>複数のボタンを同時に押したり、不必要なボタンを押すと思わぬ動きをし、のっている人や周囲の人がケガをするおそれがあります。</p>		
<p>手元スイッチや設定コントローラを使用しないときは、ヘッドボードの外側やサイドレールやベッド用グリップの外側にかけてください。</p> <p>ベッドの上やヘッドボード、サイドレールやベッド用グリップの内側などは無意識に触れて誤動作するおそれがあります。</p>		

<p>設定コントローラの SD カバーは必ず閉めた状態でご使用ください。 SD カバーを開けたまま使用すると故障の原因となります。</p>	
<p>ベッドの上で、喫煙をしないでください。 破損、火災の原因になることがあります。</p>	 
<p>モーターの動作中は、誤動作などの緊急なとき以外は電源プラグを抜かないでください。 故障の原因となります。</p>	 
<p>濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電するおそれがあります。</p>	 
<p>電源や手元スイッチ、設定コントローラのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねたり、挟み込んだり、巻きつけたり、加熱したりしないでください。 コードが破損して、火災、感電の原因となります。</p>	 
<p>モーターや手元スイッチ、設定コントローラ、その他の電気部品に水やジュースなどの液体をこぼさないでください。 故障や事故の原因となります。</p>	 
<p>手元スイッチや設定コントローラのボタンを爪や先の尖ったもので押したり、必要以上に強く押したりしないでください。 ボタンが破損するなど故障の原因となります。</p>	
<p>手元スイッチや設定コントローラを落としたり、引きずったり、強引に引っ張ったりしないでください。 故障の原因となります。</p>	
<p>ヘッドボードやフットボードを持ってベッドを引きずらないでください。 ベッドが破損するおそれがあります。</p>	

2. 各部の名称

- ベッドには図のように注意ラベルがあります。使用前に位置と内容を確認してください。
- 各部の名称及び働きは図の通りです。



- 注意事項の中で特に注意して頂きたい項目を表示してあります。
- はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

⚠ 警告

- 頭、腕及び足をサイドレールから出したまま背上げ、脚上げ操作をしないで下さい。
- 各部を操作する時はフレームに身体、手足、指を挟まないように注意して下さい。
- サイドレール及びベッド用グリップは、必ず取扱説明書に記載のものを使用して下さい。
- 背上げや脚上げ状態で、背部や脚部に立ったり腰掛けたりしないで下さい。
- このベッドは一人用です。二人以上でお使いにならないで下さい。
- 安全使用荷重は1700N(約170kg)です(使用者は約135kg)。それを超える荷重で使用しないで下さい。
- 幼児や取扱説明書、警告ラベルの内容が理解できない人には操作をさせないで下さい。
- 分解、改造はしないで下さい。

注意ラベル A

⚠ 注意

身体や物を入れないで下さい。
ケガする恐れがあります。

注意ラベル B

⚠ 警告

- ◆ 自動運転は、利用者やベッド周辺の安全を確認の上、行ってください。
- ◆ 手動運転（制限）モードでは安全のため、必ず介助の方が操作を行ってください。

0 0 0 0 0 0

|||||

◀ SD

注意ラベル C

⚠ 警告

- ◆ 操作をする前に、ベッドの下部や周囲の安全を確認してください。
- ◆ 操作を禁止する場合や操作しない場合は、安全スイッチの を OFF へ合わせてください。
- ◆ ランプが点滅した際は、取扱説明書をご参照ください。

注意ラベル D

= 135 Kg = 170 Kg

安全動作荷重ラベル

3. ベッドの使用

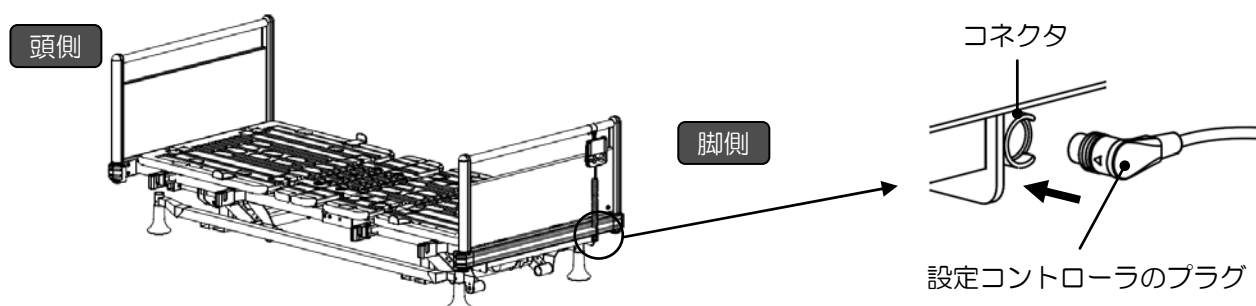
1. ベッド使用前の準備

初めてベッドを使用する時は、以下の準備を行ってください。

- 周囲に障害物のない場所にベッドを設置します。電源コードに十分余裕をもたせ、電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。
- 手元スイッチを押し正常に動作することを確認してください。
- ベッドを一番高くしたときに、コード類がひっかかっていないか、十分余裕があるか確認してください。

2. 設定コントローラの取り付け方法

- 設定コントローラは脚側に差し込み口があります。差し込む際にコネクタと設定コントローラのプラグの向きを確認してコネクタへ奥まで確実に差し込んでください。



⚠ 注意

操作をする前にベッドの下や周囲にぶつかったり、挟まったりしそうな人や物がないことを確認してください。特にサイドレール、ベッド用グリップには十分注意してください。



手元スイッチのボタンは、必要な動きに合わせて1つずつ押してください。

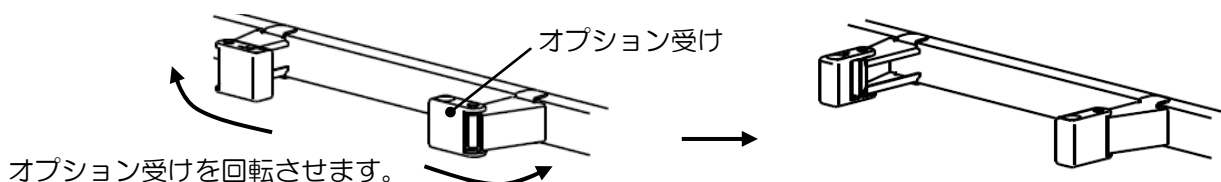


モーターの定格時間は2分です。それ以上は連続して使用しないでください。安全装置が働き動作しなくなります。動作しない場合は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。



3. オプション受けの使用方法

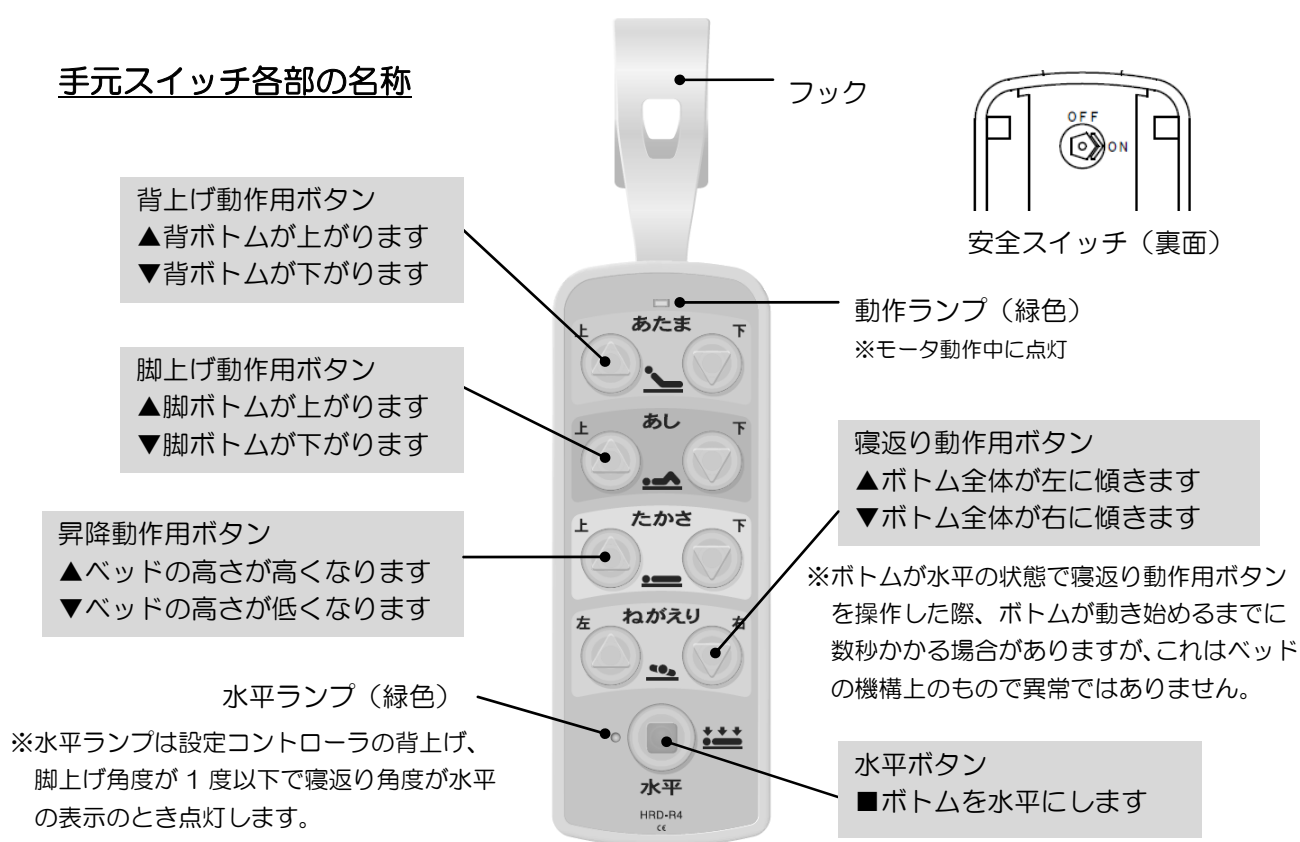
- サイドレールやベッド用グリップを使用するときにはオプション受けを回転させて、セットします。



4. 手元スイッチ

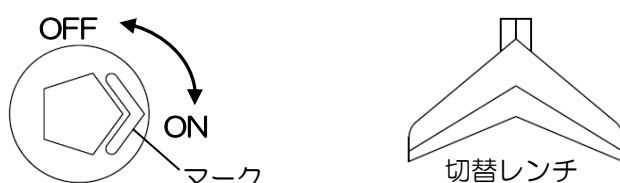
- 設定コントローラが「手動運転」、「手動運転（制限）」モードのとき操作できます。
- 「背上げ（あたま）」、「脚上げ（あし）」、「昇降（たかさ）」、「寝返り（ねがえり）」の操作を行うことができます。
- 「水平」ボタンは背、脚、寝返りの角度が上がっていた場合、全て水平に戻します。
- ベッドを操作するときは、手元スイッチの各ボタンを1つ押してください。ボタンを押している間、動作ランプが点灯し、ベッドが動きます。
- 各ボタンは、部屋が暗くなってもしばらくのあいだ発光し、ボタンの位置を確認することができます。
- 手元スイッチを使用しない場合は、中継コードから手元スイッチを外し、取扱説明書と一緒に所定の場所に保管してください。

4-1. 手元スイッチ各部の名称



4-2. 安全スイッチ

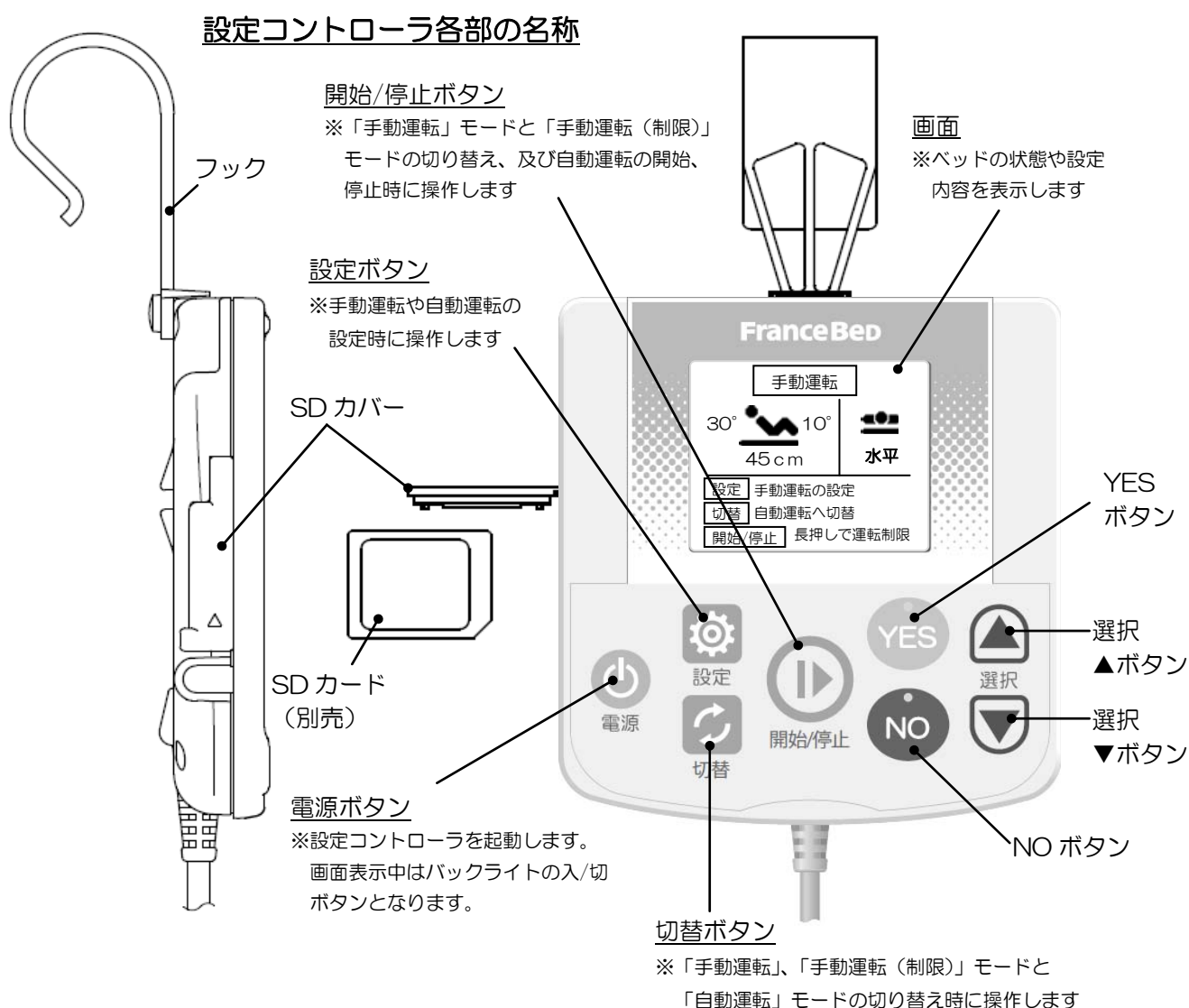
- 手元スイッチ裏側にある、安全スイッチの五角穴に付属の切替レンチを差し込み、「OFF」にマークを合わせると手元スイッチによる操作を禁止することができます。
- 「ON」にマークを合わせると手元スイッチによる操作が可能になります。
- 挟み込み予防や、使用者の症状や状態によって危険が想定される場合は手元スイッチでの操作を禁止してください。



5. 設定コントローラ

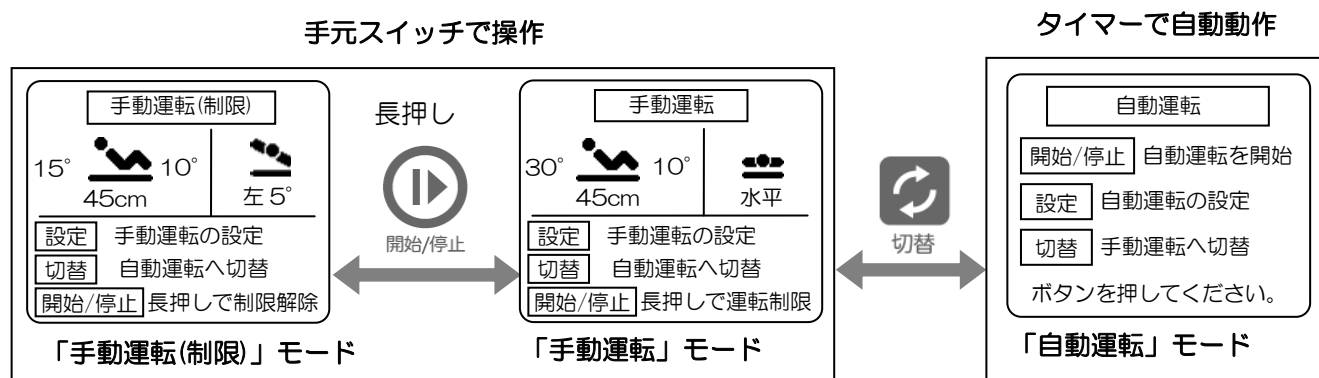
- 手元スイッチの操作設定や、寝返り動作の自動運転の設定を行います。画面にガイダンスが表示されるため簡単に設定することができます。
- 背・脚ボトムの角度、ベッド高さ、寝返りのボトム角度を画面に表示します。
- 設定コントローラは「手動運転」、「手動運転（制限）」、「自動運転」の3つのモードがあり、設定したモードを表示します。
- 「手動運転」モード、「手動運転（制限）」モードのとき、手元スイッチで操作を行うことができます。また、「動作速度」、「操作禁止」、「音でお知らせ」などの手元スイッチでの操作設定することができます。
- 「自動運転」モードでは、寝返り動作の自動運転の設定を行うことができます。また、自動運転中は、画面に経過状況が表示されます。
- 電源ボタンは立ち上げる際に押し、画面表示中はバックライトの入/切ボタンとなります。
- 設定コントローラを使用しない場合は、脚側のコネクタから設定コントローラを外し、取扱説明書と一緒に所定の場所に保管してください。

5-1. 設定コントローラ各部の名称



6. 3つの運転モード（「手動運転」、「手動運転（制限）」、「自動運転」）

- 「手動運転」、「手動運転（制限）」、「自動運転」の3つのモードから選択してベッドを動作させます。
- 「手動運転」モードのとき、手元スイッチで各動作を操作することができます。
- 「手動運転（制限）」モードのとき、通常より動作範囲は制限されますが、背上げ、脚上げた状態で寝返り動作することができます。
- 「自動運転」モードのとき、自動で寝返り動作を繰り返すことができます。
- 「切替」ボタンを押すと「手動運転」モード（または「手動運転（制限）」モード）と「自動運転」モードが切り替わります。
- 「手動運転」モードと「手動運転（制限）」モードとの切り替えは「開始/停止」ボタンを長押しします。ベッドが水平でない場合は、手元スイッチでベッドを水平に戻してください。

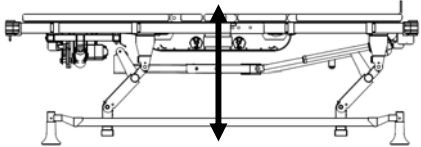
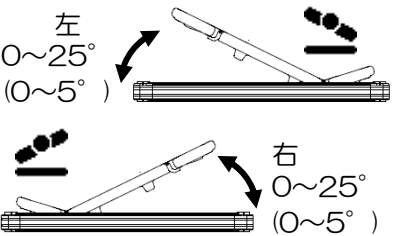
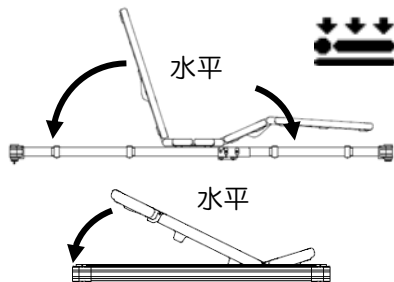
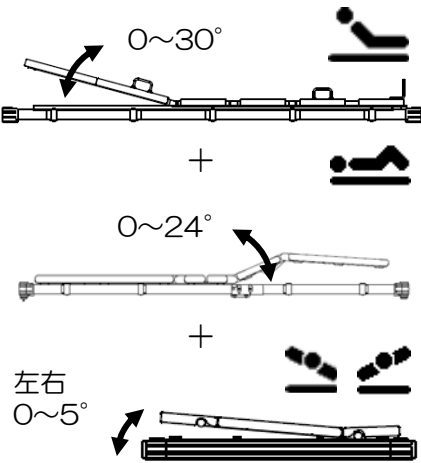


7. 手元スイッチでの操作（「手動運転」、「手動運転（制限）」モード）

- 「手動運転」モードのとき、手元スイッチで各動作を操作することができます。
- 「手動運転（制限）」モードのとき、通常より動作範囲は制限されますが、背上げ、脚上げた状態で寝返り動作することができます。

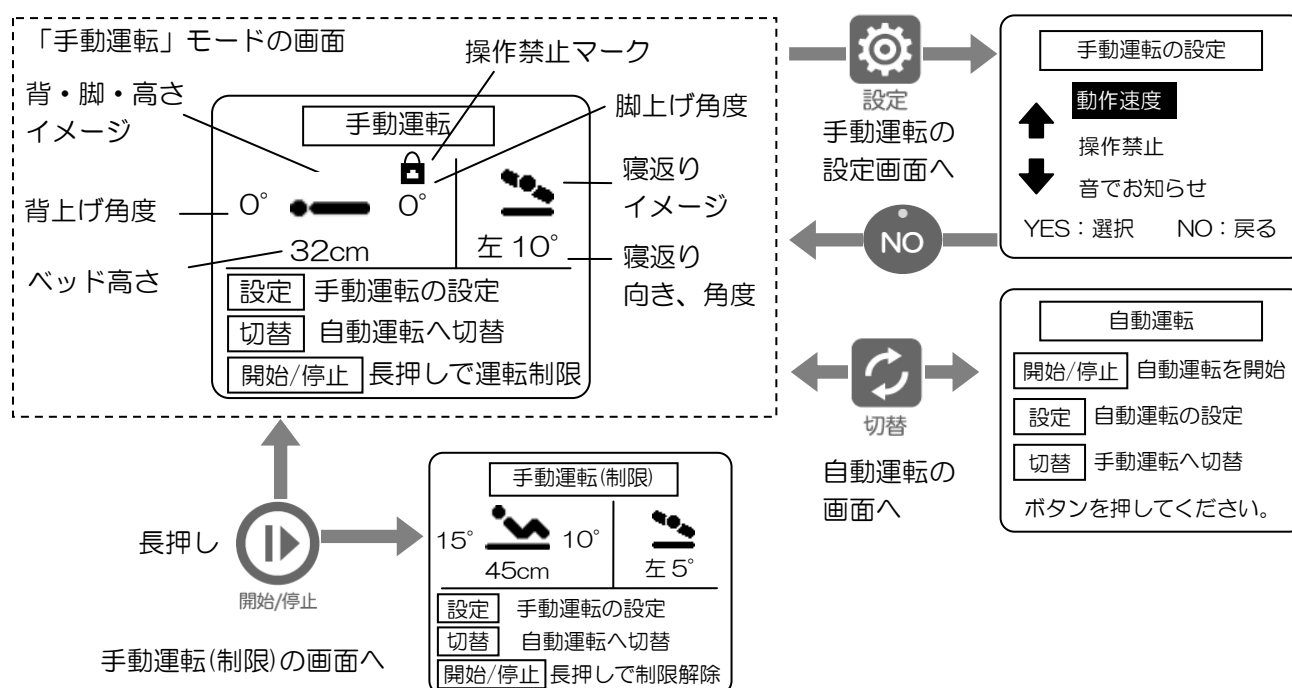
<手元スイッチでの動作>

動作	用途	操作モード
背上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 背ボトムの角度が 0～72°（0～30°）まで調節可能です。 ● ベッドから起き上がりのときに便利です。 ● ベッドでの食事、読書等で背もたれとして使用できます。 ※（ ）内は手動運転（制限）時	手動運転 手動運転（制限）
脚上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 脚ボトムの角度が 0～24° まで調節可能です。 ● 脚がむくんだときや、少し脚を上げたいときに使用します。 ● 背上げをする時に先に上げておくと、体のずれを少なくできます。 	手動運転 手動運転（制限）

<p>昇降（高さ調節）</p> <p>32～66 cm （ストローク 34 cm）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 床からボトム面までの高さを 32 cm～66 cm まで調節可能です。 ● ベッドから立ち上がる高さを調節することができます。 ● ベッドの高さを調整することによって楽な姿勢で看護できます。 ● 車いす等に移乗するときに高さを合わせられます。 ● 上下昇降動作中は、若干ベッドが前後に移動するため、ベッドは、周囲の壁や家具などの障害物から離して置いてください。ベッドの周囲にものを置かないでください。 <p>ベッドの頭側／脚側（長手方向）：10 cm 以上 ベッドの両側（サイド）：5 cm 以上</p>	<p>手動運転</p> <p>手動運転 （制限）</p>
<p>寝返り（左右）</p> <p>左 0～25° (0～5°)</p> <p>右 0～25° (0～5°)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● ボトムを左右に 0～25°（0～5°）まで傾斜させることが可能です。 ● ボトムを傾斜させることによって、体圧のかかる位置を変えます。 <p>※左右はベッド頭側から見た向きです。 ※（ ）内は手動運転（制限）時</p>	<p>手動運転</p> <p>手動運転 （制限）</p>
<p>水平（背、脚、寝返り）</p> <p>水平</p> <p>水平</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 背上げ、脚上げ、寝返りの状態からベッドを水平に戻します。 ● 水平位置になると水平ランプが点灯します。 <p>※水平ランプは設定コントローラの背上げ、脚上げ角度が 1° 以下、寝返り角度が水平の表示のとき点灯します。</p>	<p>手動運転</p> <p>手動運転 （制限）</p>
<p>背上げ＋脚上げ＋寝返り</p> <p>0～30°</p> <p>+</p> <p>0～24°</p> <p>+</p> <p>左右 0～5°</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 背ボトムの角度を 0～30°、脚ボトムの角度を 0～24° までに制限した上でボトムを左右に 0～5° まで傾斜させることが可能です。 ● 背上げ、脚上げしながら、傾斜させるポジションが取れます。 <p>※手動運転（制限）モードのみ可能です。</p>	<p>手動運転 （制限）</p>

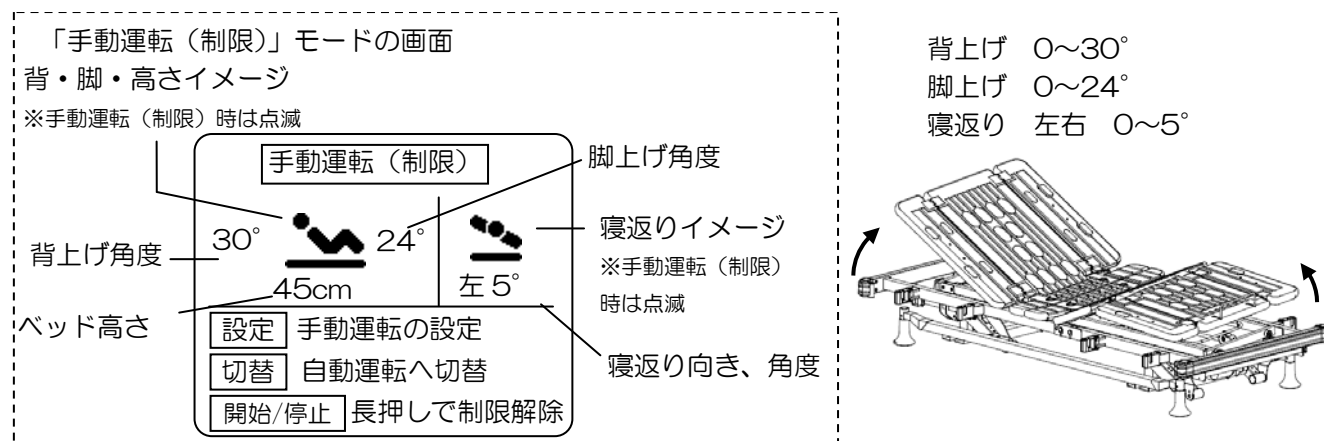
7-1. 手動運転モード

- 「手動運転」モードは、手元スイッチで操作を行うモードです。背ボトム、脚ボトムの角度、寝返り時のボトムの傾斜角度、ベッド高さを設定コントロールに表示します。
- 「手動運転」モードでは以下の場合、ボタンを押しても動作しません。その際は、水平ボタンで一旦ボトムを水平にしてから再度、操作を行ってください。
 - ・背ボトム、脚ボトムが水平でない状態で寝返り動作ボタンを押した場合
 - ・ボトムが左右に傾斜している状態で背上げ、脚上げ動作ボタンを押した場合
 ※手元スイッチの水平ランプが点灯しているときは各動作とも操作可能です。
- 「設定」ボタンを押すと設定画面になり、手元スイッチでの操作に対して、「動作速度」、「操作禁止」、「音でお知らせ」の設定を行うことができます。



7-2. 手動運転（制限）モード

- 「手動運転（制限）」モードは、背上げ及び脚上げの状態での寝返り動作を制限付きで動作できるモードです。背上げは0～30°、脚上げは0～24°、寝返りは左右ともに0～5°まで動作できます。「手動運転（制限）」モードの際は、必ず介助される方が使用者やベッド回りの安全を確認した上で操作を行ってください。
- 「手動運転」モードと同じくベッドの状態を表示し、「設定」ボタンで各動作を設定することができます。

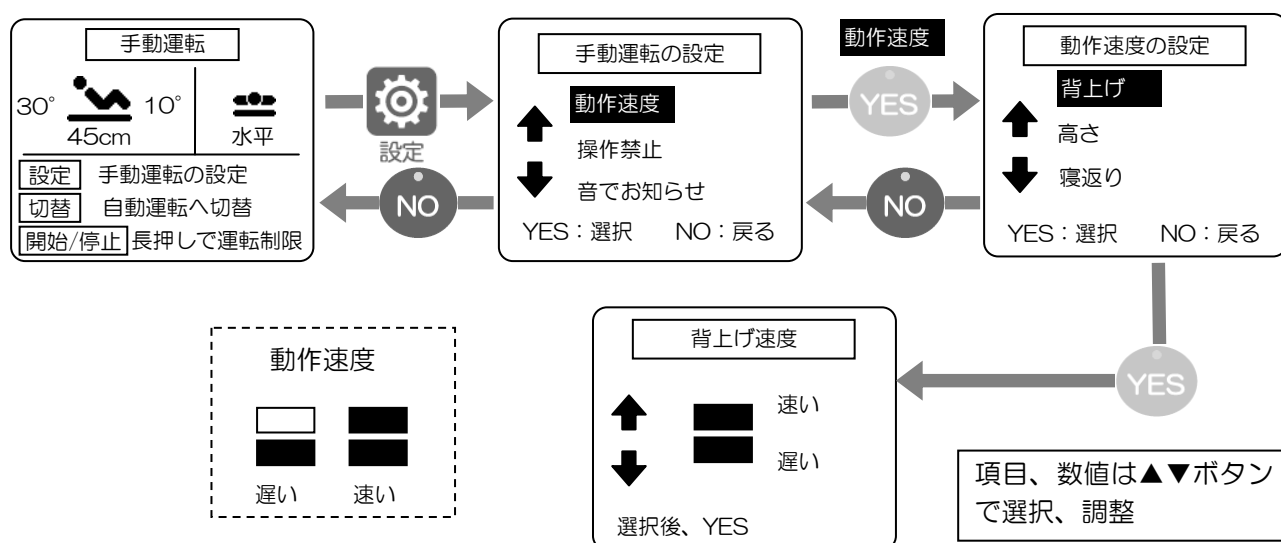


7-3. 手元スイッチでの操作の設定（「手動運転」、「手動運転（制限）」モード）

「手動運転」、「手動運転（制限）」モードでは、手元スイッチによる「動作速度」、「操作禁止」、「音でお知らせ」の操作を設定することができます。

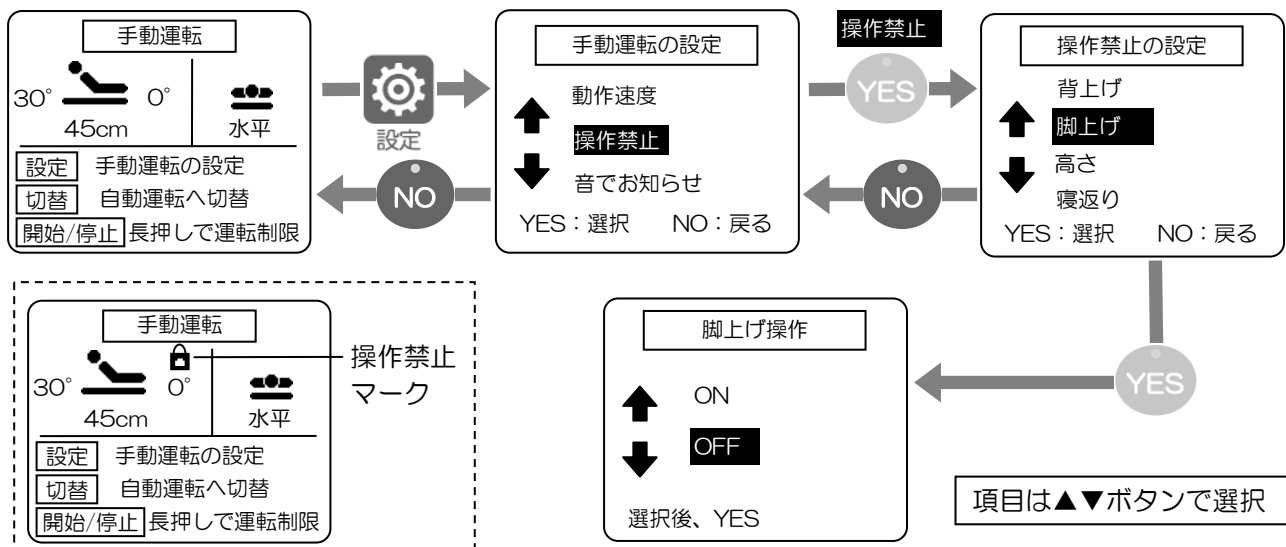
7-3-1. 背上げ動作、寝返り動作、昇降動作の速度設定

- 背上げ動作、昇降動作が2段階、寝返り動作が3段階、それぞれの動作速度を選択できます。



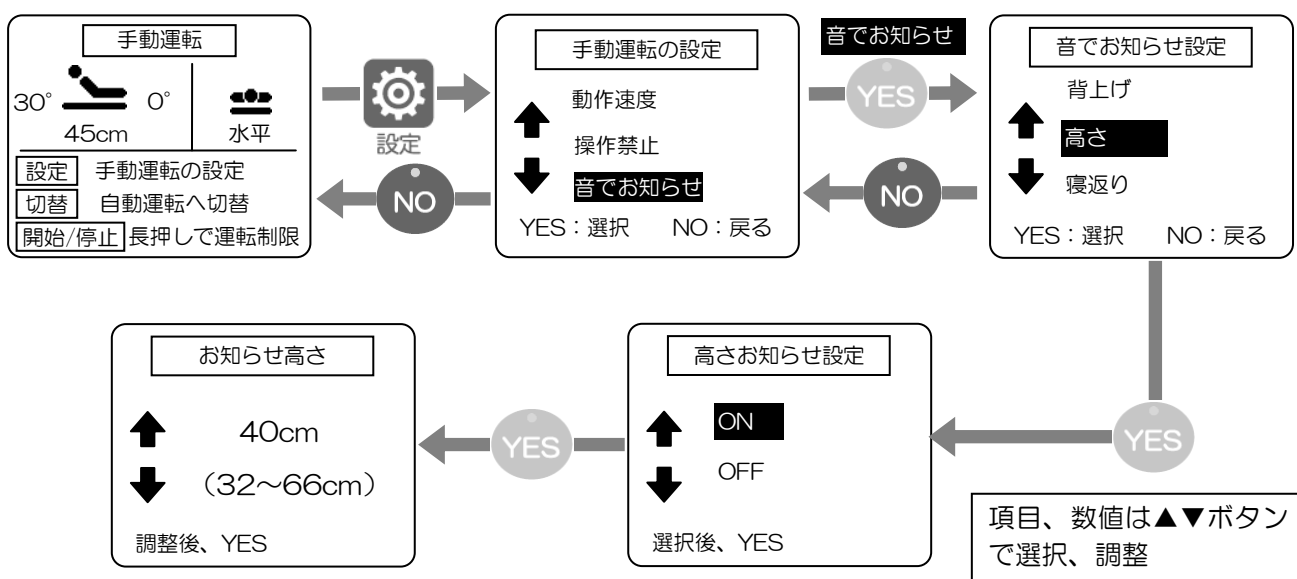
7-3-2. 操作禁止設定

- 背上げ、脚上げ、寝返り、昇降の各動作について、それぞれ操作禁止の設定することができます。操作する場合は「ON」、操作禁止にする場合は「OFF」を選択してください。
- 操作禁止を設定した場合は、画面の各動作の数値の近くに操作禁止マーク（鍵マーク）が表示されます。



7-3-3. 音でお知らせ設定

- 背上げ、寝返り動作は設定した角度でアラームを鳴らし一旦停止します。その後、再びボタン操作をすると動作します。
- 昇降動作は設定した高さでアラームを鳴らしてお知らせします。（停止はしません）
- 各お知らせ設定が「OFF」の場合は、その動作のアラームは鳴りません。
- 背上げ角度は0～72°、寝返り角度は0～24°、高さは32～66cmの範囲でアラームを鳴らす位置を調整できます。

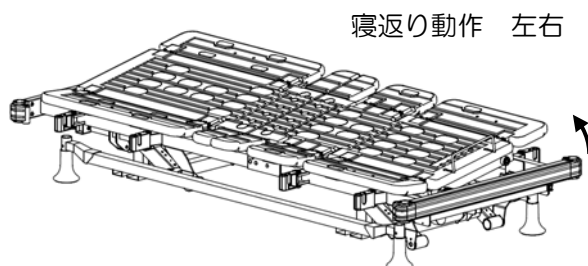


8. タイマーでの自動運転（「自動運転」モード）

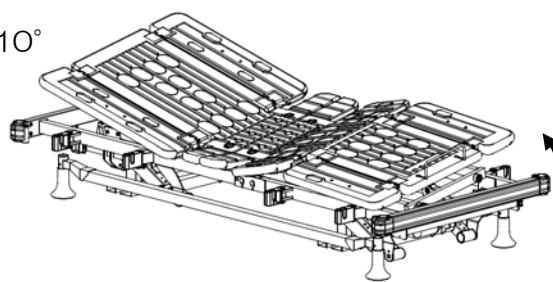
- 「自動運転」モードのときは、自動で寝返り動作を繰り返すことができます。

<自動運転での動作>

動作	用途	操作モード
<p>寝返り 自動運転</p> <p>15° 以下</p> <p>15° 以下</p> <p>左右それぞれ 5~10° の範囲で設定可能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 傾斜角度や速度、停止時間など設定した寝返り動作を繰り返すことができます。 ● 自動運転時はボトムの傾斜角度を左右それぞれ 5~10° の範囲で設定できます。 ● 手動運転であらかじめ、背上げ（0~15°）、脚上げ（0~15°）にしておくと、その角度を保ったまま自動運転することができます。背・脚の角度が 15° 以上の場合は、開始前に自動で 15° 以下に下がってから自動運転が開始されます。 ● 使用者の状態に合わせて、角度や時間を自由に調整できます。 	自動運転



※背上げ、脚上げが水平な場合



※背上げ 15°、脚上げ 15° の場合

<自動運転中の表示画面>

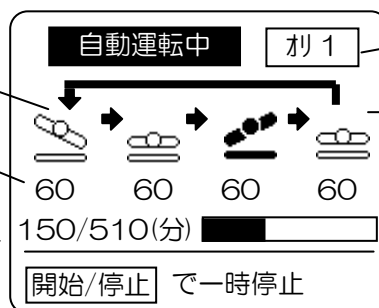
自動運転の順番

左寝→水平 1→右寝→水平 2→...

各動作での停止時間

左寝（60 分）、水平 1（60 分）...

経過時間／総運転時間（分）



設定された運転パターン

現在の動作が黒い表示

経過時間／総運転時間（分）のグラフ

- 「自動運転」モードは、寝返りの自動運転を行うモードです。
- 「開始/停止」ボタンを押すと、自動運転を開始するか選択します。「YES」ボタンを押すとあらかじめ設定された自動運転を開始します。
- 自動運転を開始する際に、ベッドが水平でなかった場合は、自動でベッドが水平に戻ってから自動運転を開始します。
- 手動運転であらかじめ、背上げ（0～15°）、脚上げ（0～15°）にしておくとし、その角度を保ったまま自動運転することができます。背・脚の角度が 15° 以上の場合は、開始前に自動で 15° 以下に下ってから自動運転を開始します。
- 自動運転中は、画面に経過状況が表示されます。
- 自動運転中に「開始/停止」ボタンを押すと自動運転が停止します。停止した際に、ベッドが傾斜していた場合は、自動で水平に戻ります。
- 自動運転を途中で終了して再開する際は、前回の自動運転の途中から継続して運転するか（停止前から継続）、新しく開始するか選択することができます。
- 「設定」ボタンを押すと設定画面になり、自動運転の設定を行うことができます。

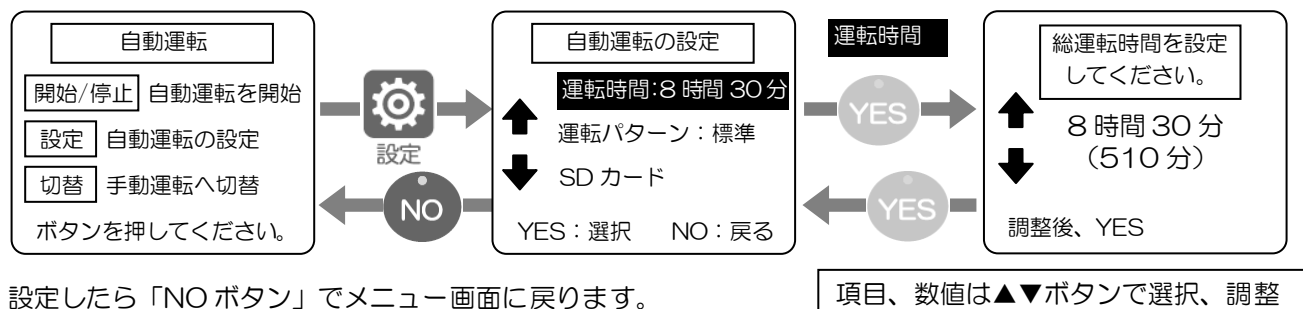


8-2. 自動運転の設定（「自動運転」モード）

傾斜角度や速度、停止時間などを設定することができます。

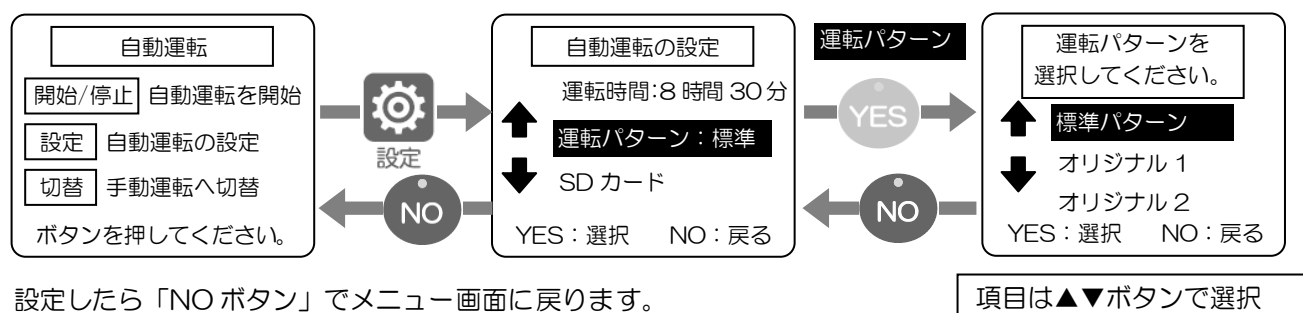
8-2-1. 運転時間の設定

- 「運転時間」は自動運転の総運転時間を設定します。（最小 10 分～最大 24 時間）
- 設定された総運転時間を経過すると水平な状態で終了します。



8-2-2. 運転パターンの選択

- 「運転パターン」は、寝返りの自動運転時の内容を、あらかじめ設定してある 3 つのパターンから選択します。
- 設定項目は、寝返り自動運転時の「動作速度」、「動作モード」、「開始動作」、「左寝返り角度」、「右寝返り角度」、「左寝返り停止時間」、「右寝返り停止時間」、「水平 1 の停止時間」、「水平 2 の停止時間」の 9 項目あります。
- 「運転パターン」は設定値が決まっている「標準パターン」の他に、オリジナルの運転パターンが 2 つ作成できます。

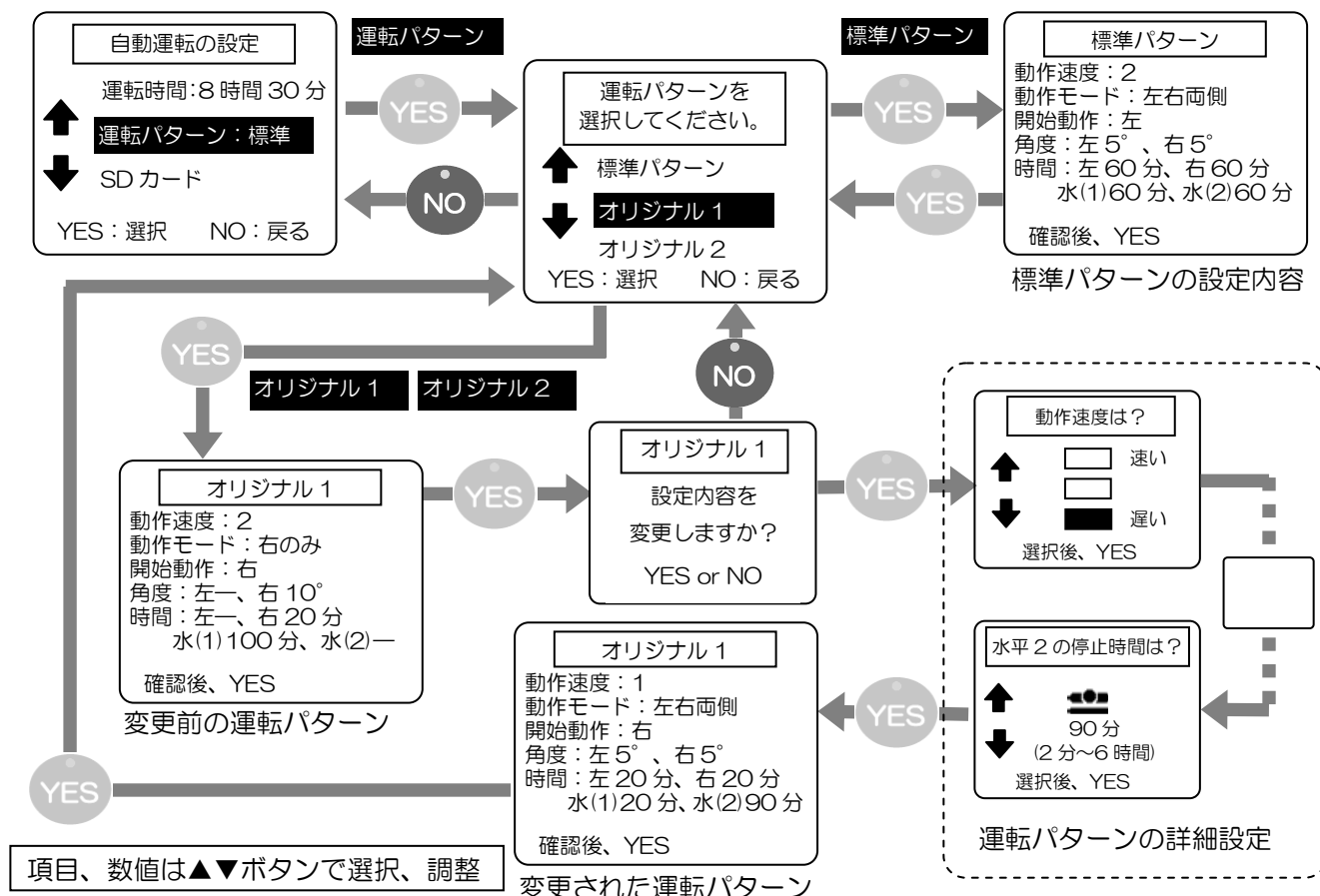


＜運転パターンの設定項目＞

画面	設定項目、内容	標準パターンの設定値
<div>動作速度は？</div> <div>  <div>速い</div> </div> <div>  <div>遅い</div> </div> <div>選択後、YES</div>	<p>＜動作速度（3 段階）＞</p> <p>自動運転時の寝返りの動作速度を 3 段階より選択します。</p>	速度 2
<div>動作モードは？</div> <div>  <div>左右両側</div> </div> <div>  <div>左のみ</div> </div> <div>  <div>右のみ</div> </div> <div>選択後、YES</div>	<p>＜動作モード（左右、左のみ、右のみ）＞</p> <p>寝返りの繰り返し動作を左右交互に行うか、左右片側のどちらかのみで行うかを選択します。</p>	左右両側
<div>どの動作から始めますか？</div> <div>  <div>左寝返り</div> </div> <div>  <div>右寝返り</div> </div> <div>  <div>水平</div> </div> <div>選択後、YES</div>	<p>＜開始動作（左、右、水平）＞</p> <p>左側寝返りから開始するか、右側寝返りから開始するか、もしくは一定時間水平を保った後に動作を開始するか選択します。</p>	左
<div>左寝返り角度は？</div> <div>  <div>5°</div> </div> <div>  <div>(5~10°)</div> </div> <div>選択後、YES</div>	<p>＜左寝返り角度（5~10°）＞</p> <p>自動運転時の左寝返り角度を 5~10° の間で調整します。</p>	5°
<div>右寝返り角度は？</div> <div>  <div>5°</div> </div> <div>  <div>(5~10°)</div> </div> <div>選択後、YES</div>	<p>＜右寝返り角度（5~10°）＞</p> <p>自動運転時の右寝返り角度を 5~10° の間で調整します。</p>	5°
<div>左寝返り停止時間は？</div> <div>  <div>60 分</div> </div> <div>  <div>(2 分~6 時間)</div> </div> <div>選択後、YES</div>	<p>＜左寝返り停止時間（2 分~6 時間）＞</p> <p>左寝返りの状態で停止している時間を調整します。</p>	60 分
<div>右寝返り停止時間は？</div> <div>  <div>60 分</div> </div> <div>  <div>(2 分~6 時間)</div> </div> <div>選択後、YES</div>	<p>＜右寝返り停止時間（2 分~6 時間）＞</p> <p>右寝返りの状態で停止している時間を調整します。</p>	60 分
<div>水平 1 の停止時間は？</div> <div>  <div>60 分</div> </div> <div>  <div>(2 分~6 時間)</div> </div> <div>選択後、YES</div>	<p>＜水平 1 の停止時間（2 分~6 時間）＞</p> <p>運転パターン中の左寝返りと右寝返りの間の水平 1 で停止する時間を調整します。</p>	60 分
<div>水平 2 の停止時間は？</div> <div>  <div>60 分</div> </div> <div>  <div>(2 分~6 時間)</div> </div> <div>選択後、YES</div>	<p>＜水平 2 の停止時間（2 分~6 時間）＞</p> <p>運転パターン中の右寝返りと左寝返りの間の水平 2 で停止する時間を調整します。</p>	60 分

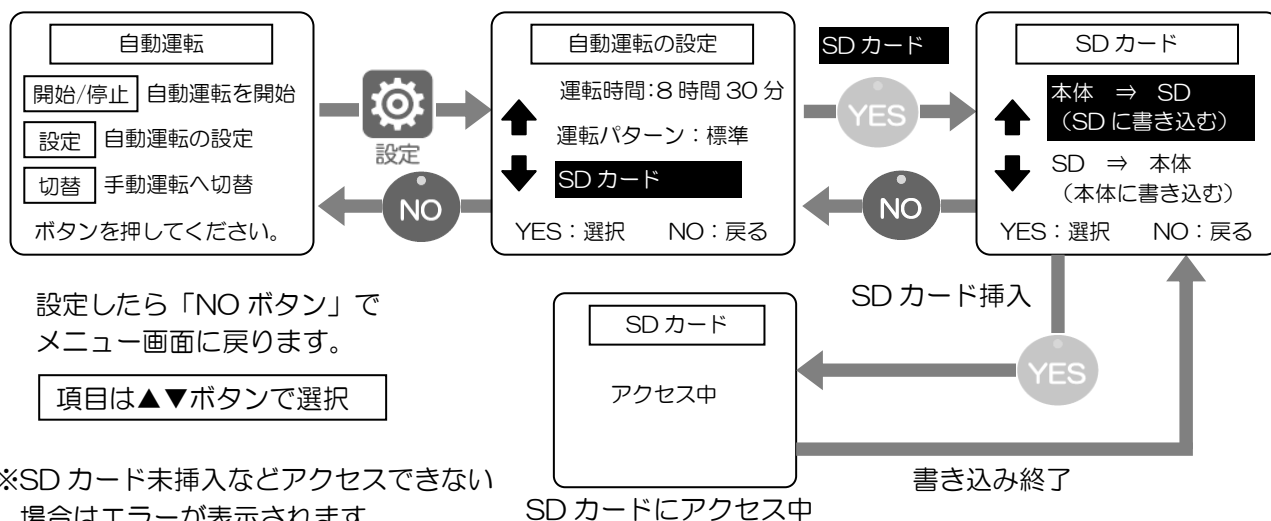
8-2-3. オリジナル運転パターンの設定変更（オリジナル 1、オリジナル 2）

- 「運転パターン」でオリジナル 1 またはオリジナル 2 を選択すると、その設定内容を変更することができます。



8-2-4. SD カード

- 「自動運転」モードの設定内容を SD カードに書き込んで、他のベッドにコピーすることができます。
- 「本体⇒SD」で本体の設定内容を SD カードに書き込みます。
- 「SD⇒本体」で SD カードの設定内容を本体に書き込みます。



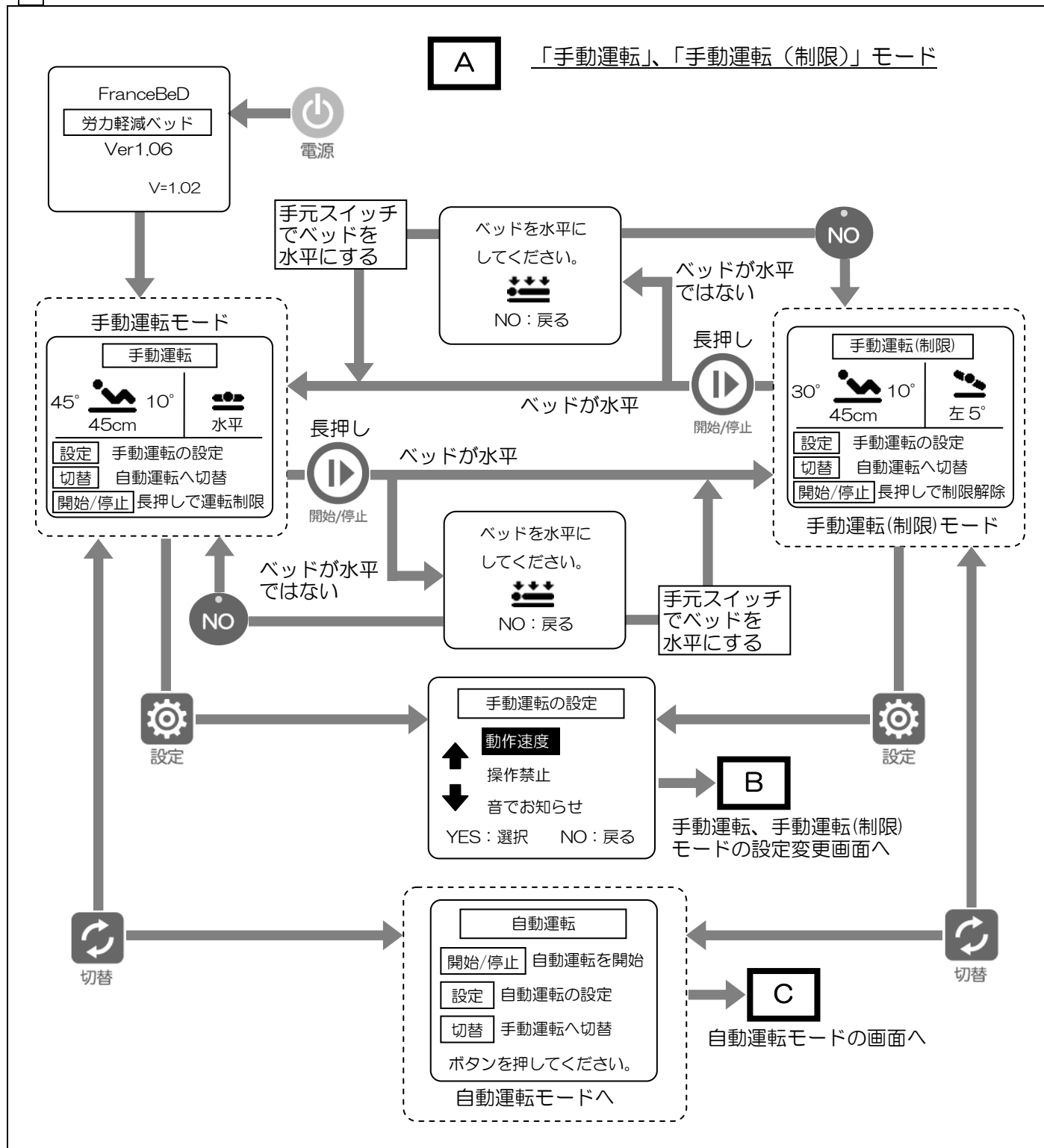
※SD カード未挿入などアクセスできない場合はエラーが表示されます。

9. 設定コントローラの画面の流れ

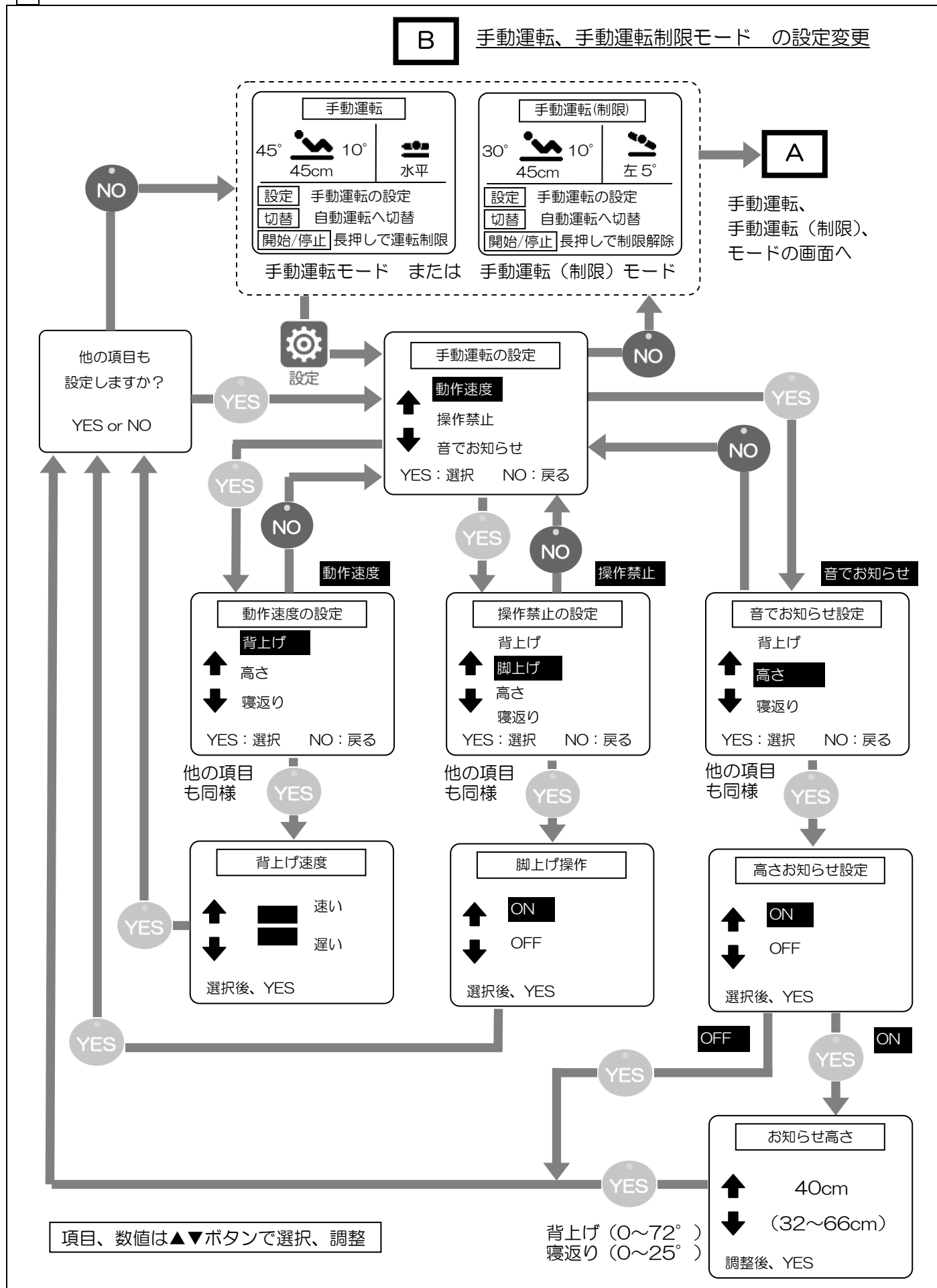
設定コントローラの画面の流れは、下図 A～D です。

- A** 「手動運転」、「手動運転（制限）」モードのコントローラ画面の流れ
- B** 「手動運転」、「手動運転（制限）」の設定変更のコントローラ画面の流れ
- C** 「自動運転」モードのコントローラ画面の流れ
- D** オリジナル運転パターンの設定変更のコントローラ画面の流れ

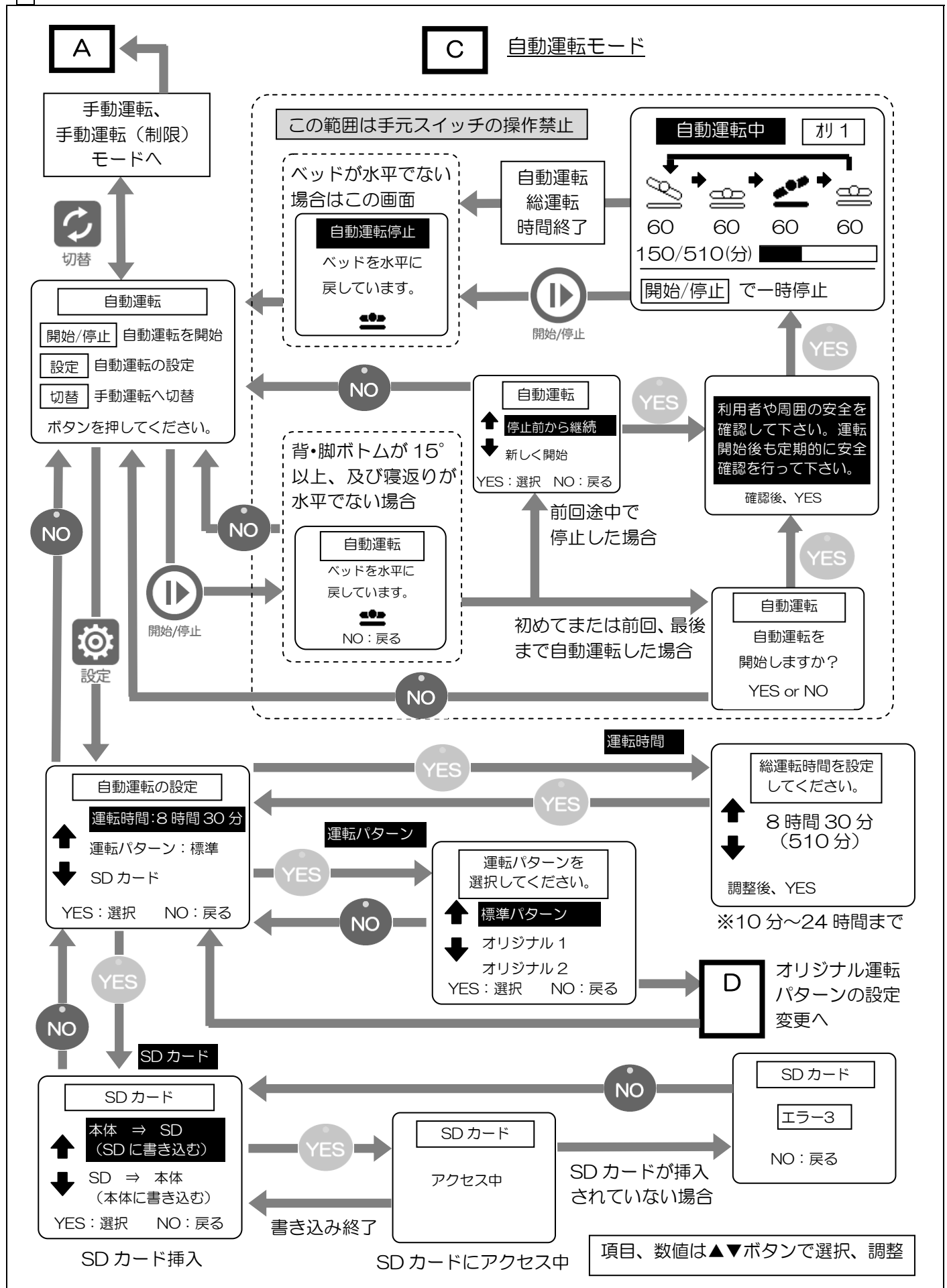
A <「手動運転」、「手動運転（制限）」モードのコントローラ画面の流れ>



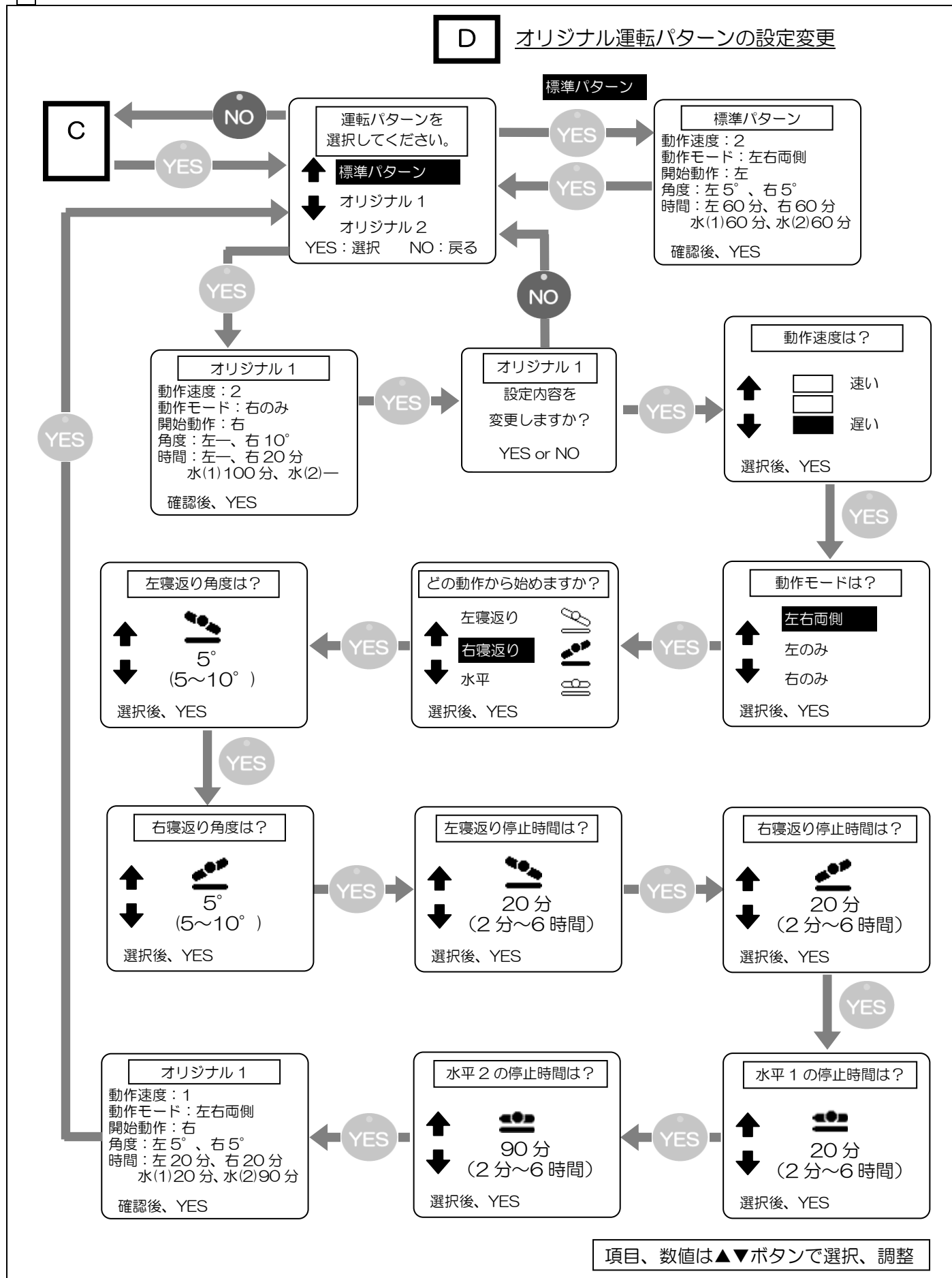
B <「手動運転」、「手動運転（制限）」モードの設定変更時のコントローラ画面の流れ>



C <「自動運転」モードのコントローラ画面の流れ>



D <オリジナル運転パターンの設定変更のコントローラ画面の流れ>

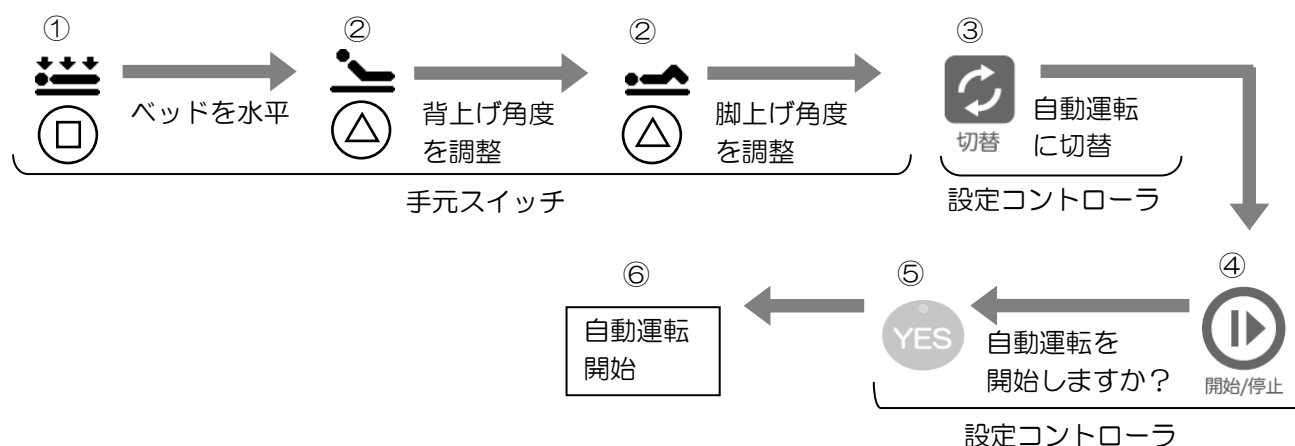


10. 状況別の操作手順例

自動運転中に介助が必要になった際の状況に応じた操作手順の例です。

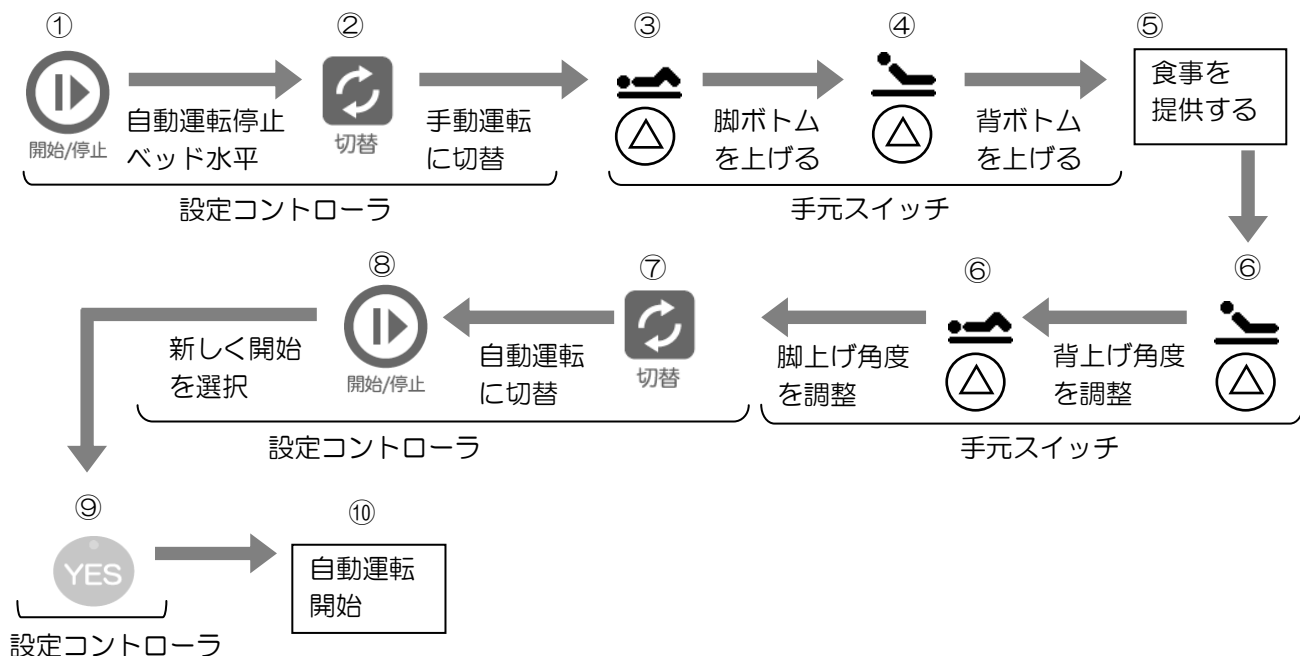
例 1. 設定されている自動運転モードを実施する

- ① 「水平」ボタンを操作してベッドを水平にする。
- ② 背上げ、脚上げをした状態で寝返りを行いたい場合は、背上げ 0～15°、脚上げ 0～15° の範囲になるように設定コントロールの画面を確認しながら調整を行う。
- ③ 「切替」ボタンを押して自動運転モードに切り替える。
- ④ 利用者の体の位置、ベッド周辺の安全を確認し、「開始/停止」ボタンを押す。
(ベッドの左右が傾斜している場合は自動で水平になる。また背上げ、脚上げの角度が 15° 以上の場合は自動で 15° になる。)
- ⑤ 「自動運転を開始しますか？」の表示で「YES」ボタンを押す。
- ⑥ 設定されている自動運転を開始。



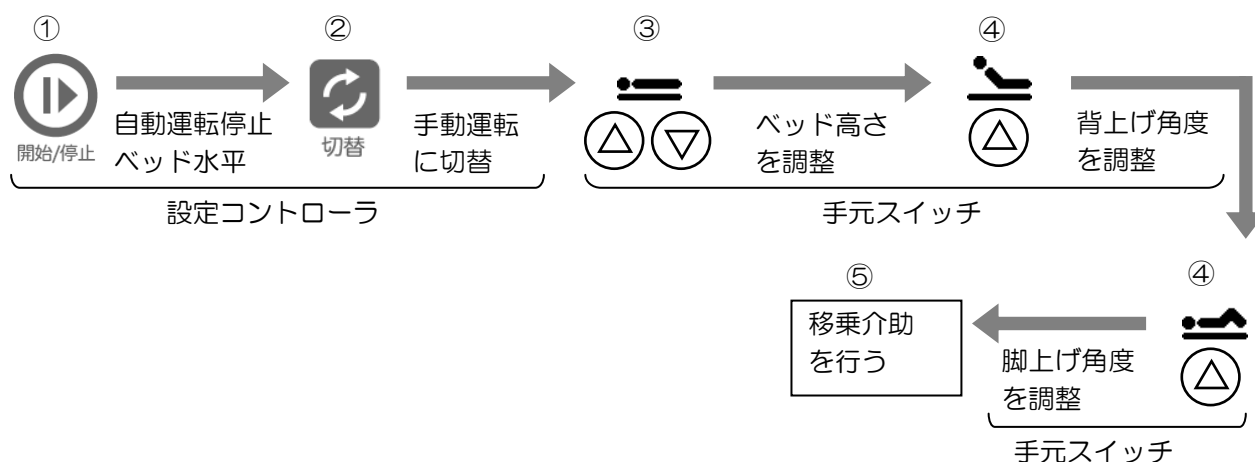
例 2. 自動運転中にベッド上で食事を提供する

- ① 利用者の体の位置、ベッド周辺の安全を確認し、「開始/停止」ボタンを押して自動運転を停止する。(停止後、自動で寝返り動作による傾斜のみが水平になる)
- ② 「切替」ボタンを押して手動運転モードに切り替える。
- ③ 「あし ▲」ボタンを操作し、脚ボトムを上げる。
- ④ 「あたま ▲」ボタンを操作し、背ボトムを適切な角度に調整する。
- ⑤ 食事を提供する。
- ⑥ 食後、落ち着いたのを確認し、背上げ、脚上げを元の角度に戻す。(背上げ 0～15°、脚上げ 0～15° の範囲)
- ⑦ 「切替」ボタンを押して自動運転モードに切り替える。
- ⑧ 利用者の体の位置、ベッド周辺の安全を確認し、「開始/停止」ボタンを押す。
- ⑨ 「停止前から継続 / 新しく開始」の表示で、「選択 ▲▼」ボタンで「新しく開始」を選択して「YES」ボタンを押す。
- ⑩ 設定されている自動運転を開始。



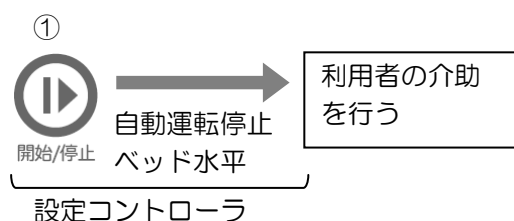
例 3. 自動運転中に離床する（ベッド→車椅子）

- ① 利用者の体の位置、ベッド周辺の安全を確認し、「開始/停止」ボタンを押して自動運転を停止する。（停止後、自動で寝返り動作による傾斜のみ水平になる）
- ② 「切替」ボタンを押して手動運転モードに切り替える。
- ③ 背上げ、脚上げを同時に自動運転していた場合は、水平ボタンを操作してベッドを水平にする。
- ④ 「たかさ▲・▼」ボタンを操作し、ベッドの高さを移乗に最適な位置に合わせる
- ⑤ 移乗介助を行う。



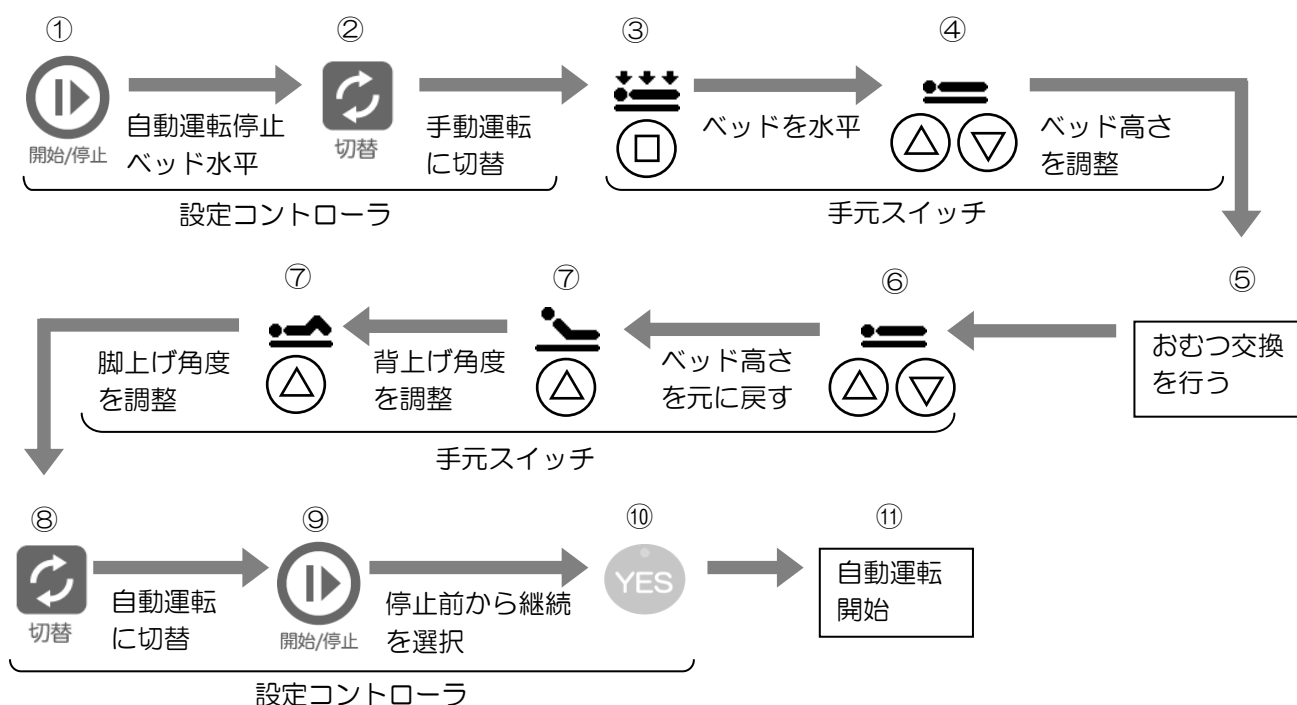
例 4. 自動運転中に利用者が体調不良

- ① 利用者の体の位置、ベッド周辺の安全を確認し、「開始/停止」ボタンを押して自動運転を停止する。（停止後、自動で寝返り動作のみ水平になる）



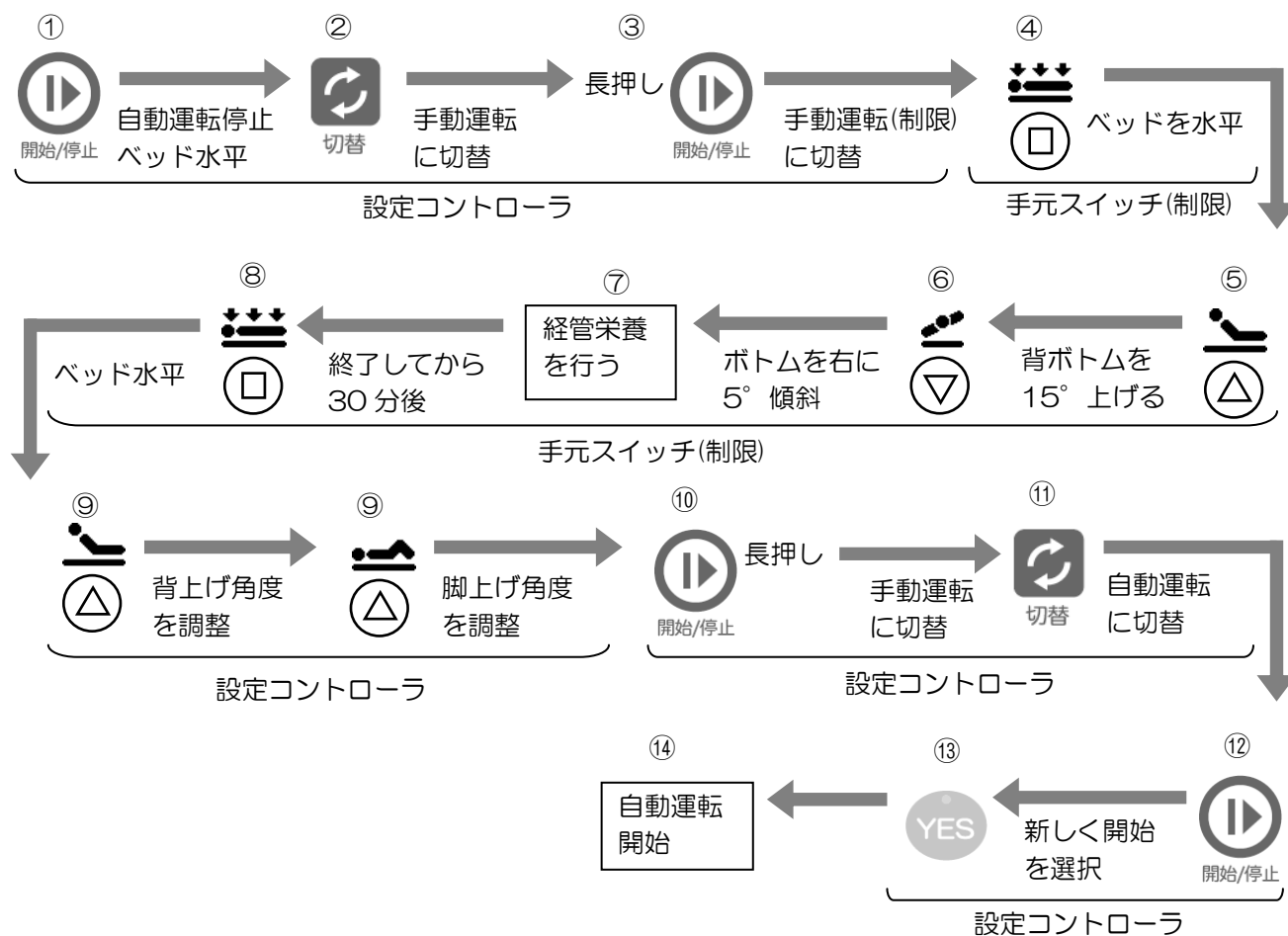
例 5. 自動運転中におむつ交換、リネン交換を行う

- ① 利用者の体の位置、ベッド周辺の安全を確認し、「開始/停止」ボタンを押して自動運転を停止する。（停止後、自動で寝返り動作による傾斜のみが水平になる）
- ② 「切替」ボタンを押して手動運転モードに切り替える。
- ③ 背上げ脚上げを同時に行っていた場合は、水平ボタンを操作してベッドを水平にする。
- ④ 「たかさ▲・▼」ボタンを操作し、ベッドの高さを介助に最適な位置に合わせる。
- ⑤ おむつ交換（リネン交換）を行う。
- ⑥ 「たかさ▲・▼」ボタンを操作し、ベッドの高さを元に戻す。
- ⑦ 背上げ、脚上げを元の角度に戻す。（背上げ 0～15°、脚上げ 0～15° の範囲）
- ⑧ 「切替」ボタンを押して自動運転モードに切り替える。
- ⑨ 利用者の体の位置、ベッド周辺の安全を確認し、「開始/停止」ボタンを押す。
- ⑩ 「停止前から継続 / 新しく開始」の表示で、「選択 ▲▼」ボタンで「停止前から継続」を選択して「YES」ボタンを押す。
- ⑪ 設定されている自動運転を開始。



例 6. 自動運転中に経管栄養を行う

- ① 利用者の体の位置、ベッド周辺の安全を確認し、「開始/停止」ボタンを押して自動運転を停止する。（停止後、自動で寝返り動作による傾斜のみが水平になる）
- ② 「切替」ボタンを押して手動運転モードに切り替える。
- ③ 「開始/停止」ボタンを長押しし、「手動運転(制限)」モードに切り替える。
- ④ 背上げ、脚上げを同時に自動運転していた場合は、水平ボタンを操作してベッドを水平にする。
- ⑤ 「あたま▲」ボタンを操作し、背ボトムを 15° まで上げる。（制限時 最大 30° ）
- ⑥ 「ねがえり▼(右)」を操作し、ボトムを右に 5° 傾斜させる。（制限時 最大 5° ）
- ⑦ 経管栄養を行う。
- ⑧ 経管栄養が終了してから約 30 分後に「水平」ボタンを操作し、ベッドを水平にする。
- ⑨ 背上げ、脚上げを元の角度に戻す。（背上げ 0~15° 、脚上げ 0~15° の範囲）
- ⑩ 「開始/停止」ボタンを長押しし、「手動運転」モードに切り替える。
- ⑪ 「切替」ボタンを押して自動運転モードに切り替える。
- ⑫ 利用者の体の位置、ベッド周辺の安全を確認し、「開始/停止」ボタンを押す。
- ⑬ 「停止前から継続 / 新しく開始」の表示で、「選択 ▲▼」ボタンで「新しく開始」を選択して「YES」ボタンを押す。
- ⑭ 設定されている自動運転を開始。



4. サイドレールとサイドレールカバー、ベッド用グリップについて

1. サイドレールの使用目的

- サイドレールは、ベッドからの転落や寝具の落ち止めとして使用します。

2. サイドレールカバーの使用目的

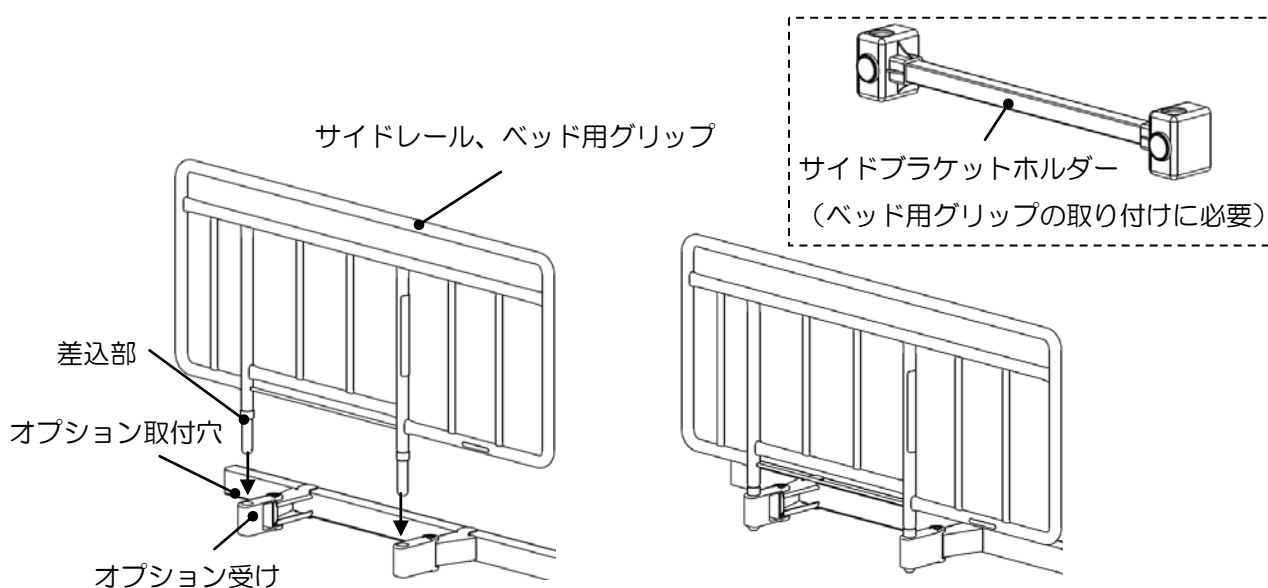
- サイドレールカバーは、サイドレールの隙間から頭や手足がはみ出る事を防ぎます。
- 本ベッドは、ベッドが横方向に傾斜した場合に手のはみ出ると危険ですので、使用者の状態に合わせてサイドレールカバーを取り付けることをおすすめします。

3. ベッド用グリップの使用目的

- ベッド用グリップは、転落や寝具の落ち止めに加えて、起き上がり、立ち上がり、移乗などの動作を補助するものです。ベッドから乗り降りする方向の頭側に取り付けます。
- ※ ベッド用グリップとは「JIS T 9205」で定義された手すりのことです。

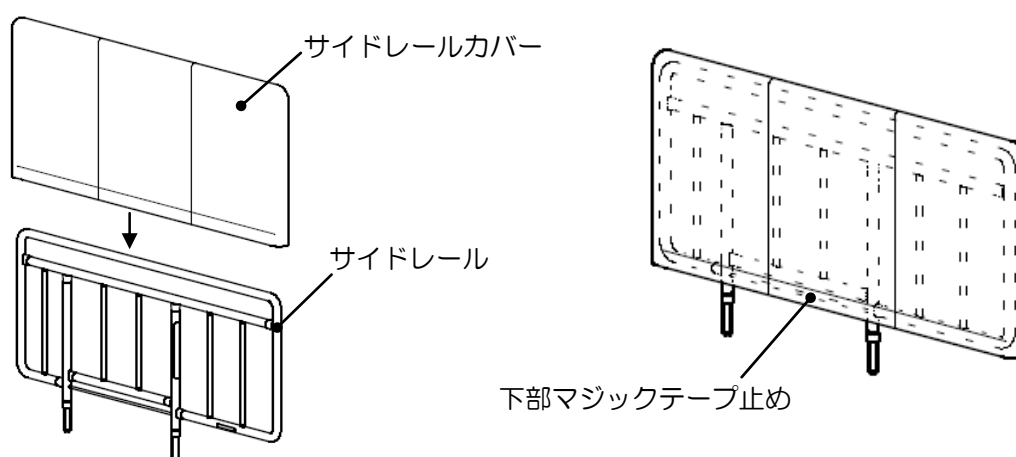
4. サイドレールとベッド用グリップの取り付け方法

- サイドレール、ベッド用グリップはベッド左右にあるオプション受けのオプション取付穴に差し込みます。
- ベッド用グリップの取り付けにはサイドブラケットホルダーが必要になります。詳しくは、各ベッド用グリップの使用方法を確認してください。



5. サイドレールカバーの取り付け方法

- サイドレールの上から被せて、下部のマジックテープを止めて固定してください。

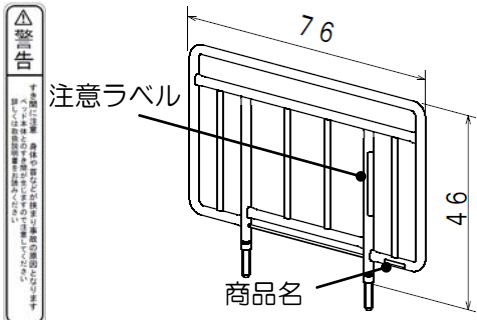
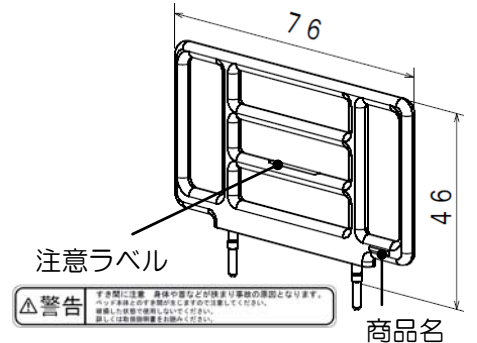
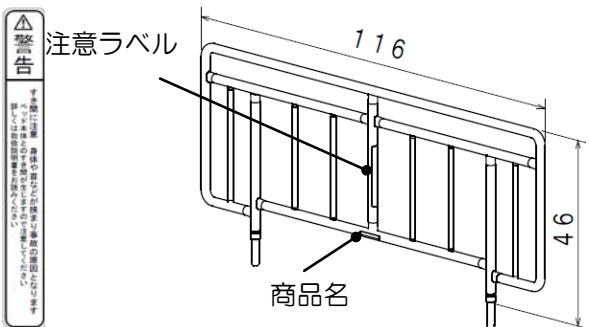


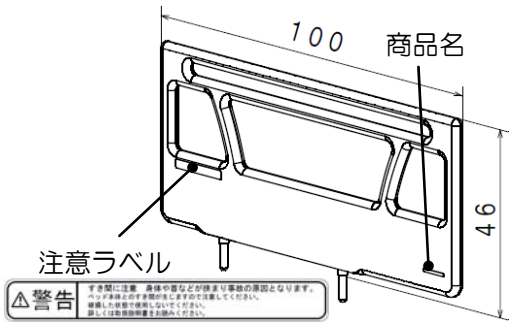
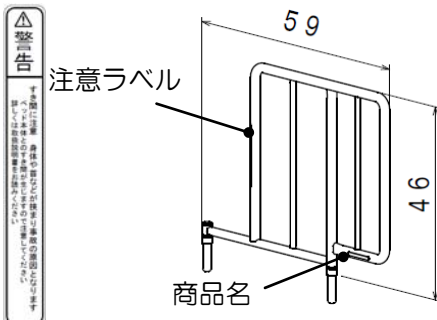
6. 適合するサイドレールとベッド用グリップ

- 本製品に適合するサイドレールとベッド用グリップを以下に示します。
- 商品名をご確認ください。
- 注意ラベルは、注意事項の中で特に注意して頂きたい項目を表示してあります。はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

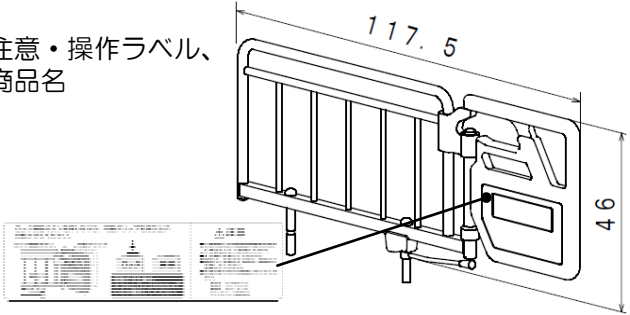
適合するサイドレール

商品名	形状、寸法 (cm)	材質、塗装、重量
サイドレール SR-100JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.5 (kg)
サイドレール SR-106JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 PP 3.5 (kg)

<p>サイドレール SR-300JJ</p>	 <p>76</p> <p>46</p> <p>注意ラベル</p> <p>商品名</p>	<p>スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.0 (kg)</p>
<p>サイドレール SR-300 ウッド JJ</p>	 <p>76</p> <p>46</p> <p>注意ラベル</p> <p>商品名</p>	<p>天然木 スチールパイプ ウレタン塗装 エポキシ樹脂粉体塗装 4.0 (kg)</p>
<p>サイドレール SR-800JJ</p>	 <p>116</p> <p>46</p> <p>注意ラベル</p> <p>商品名</p>	<p>スチール エポキシ樹脂粉体塗装 4.5 (kg)</p>

商品名	形状、寸法 (cm)	材質、塗装、重量
<p>サイドレール SR-W1JJ</p>	 <p>100</p> <p>46</p> <p>注意ラベル</p> <p>商品名</p>	<p>天然木 スチールパイプ ウレタン塗装 エポキシ樹脂粉体塗装 アクリル 6.5 (kg)</p>
<p>サイドレール SR-351JJ</p>	 <p>59</p> <p>46</p> <p>注意ラベル</p> <p>商品名</p>	<p>スチール エポキシ樹脂粉体塗装 2.5 (kg)</p>

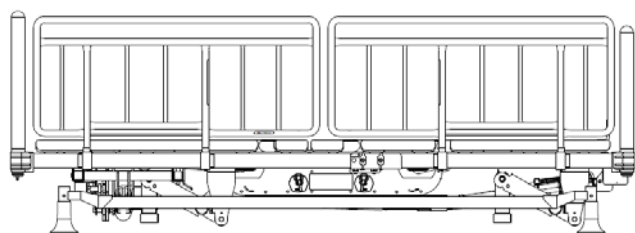
適合するベッド用グリップ

商品名	形状、寸法 (cm)	材質、塗装、重量
<p>ベッド用 グリップ GR-510</p>	<p>注意・操作ラベル、 商品名</p> 	<p>スチール エポキシ樹脂粉体塗装 7.0 (kg)</p>

7. サイドレールとベッド用グリップの推奨取り付け位置

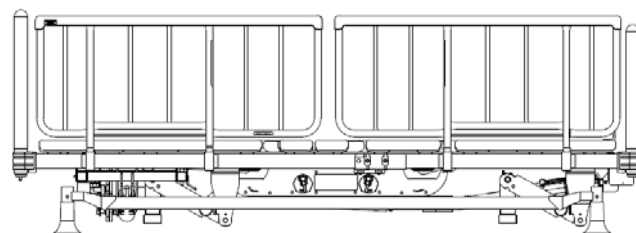
サイドレールの推奨取り付け位置

※ 図は 2 本差しの例です。片側に 1 本差しも可能です。



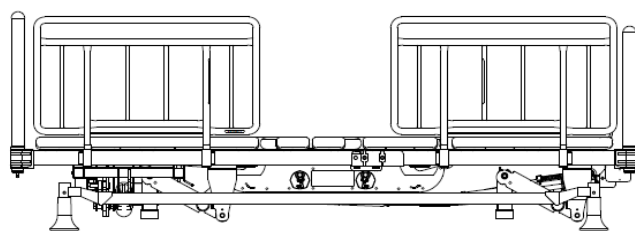
頭側：SR-100JJ

脚側：SR-100JJ



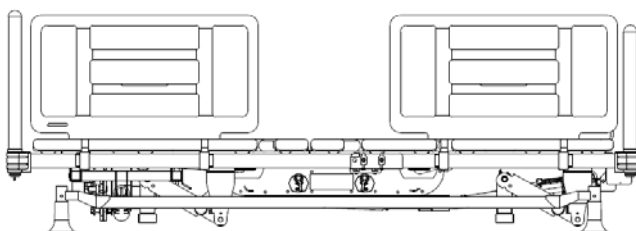
頭側：SR-106JJ

脚側：SR-106JJ



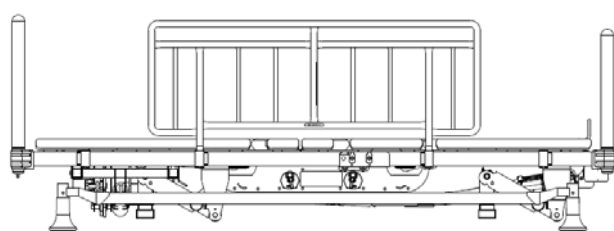
頭側：SR-300JJ

脚側：SR-300JJ

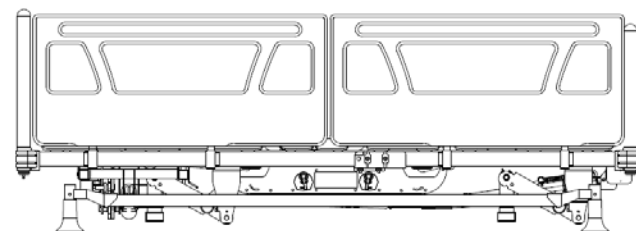


頭側：SR-300 ウッド JJ

脚側：SR-300 ウッド JJ

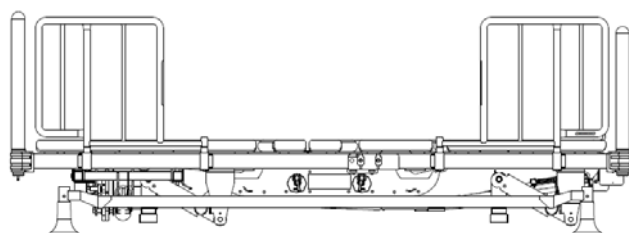


中央：SR-800JJ



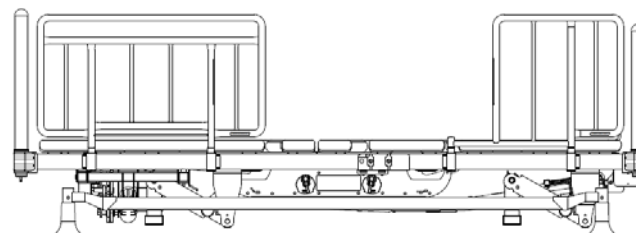
頭側：SR-W1JJ

脚側：SR-W1JJ



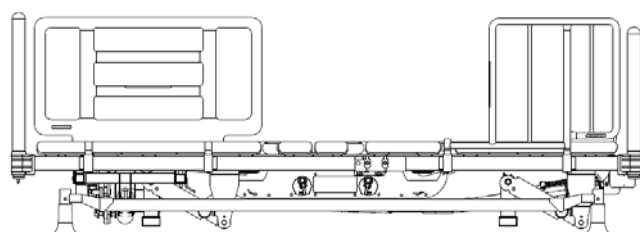
頭側：SR-351JJ

脚側：SR-351JJ



頭側：SR-300JJ

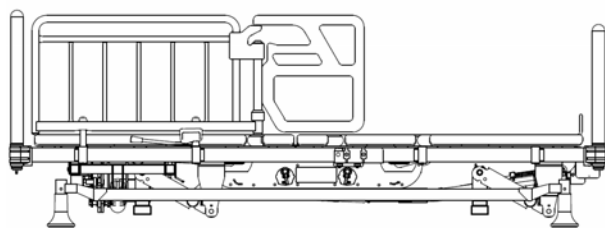
脚側：SR-351JJ



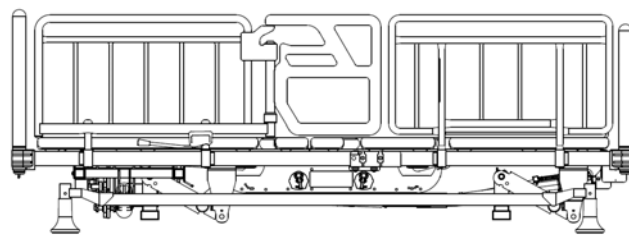
頭側：SR-300 ウッド JJ

脚側：SR-351JJ

ベッド用グリップの推奨取り付け位置

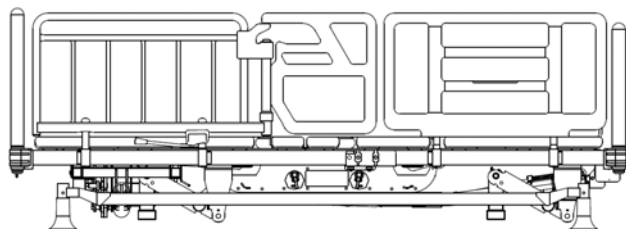


頭側：GR-510



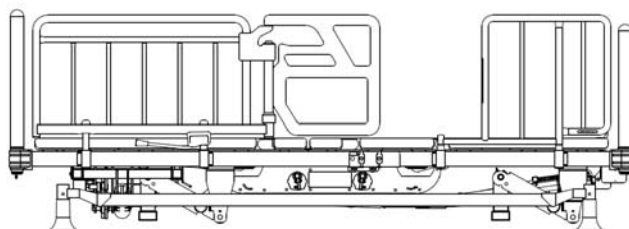
頭側：GR-510

脚側：SR-300JJ



頭側：GR-510

脚側：SR-300UJJ



頭側：GR-510

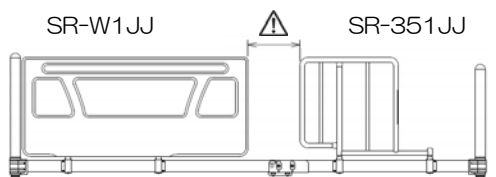
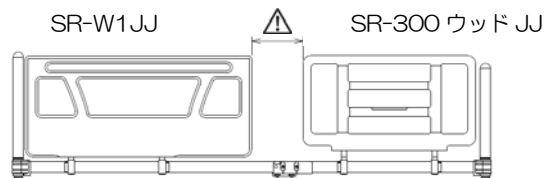
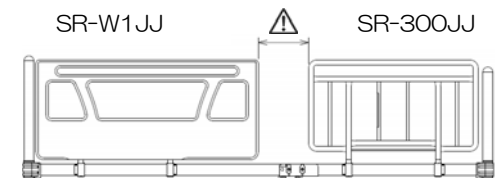
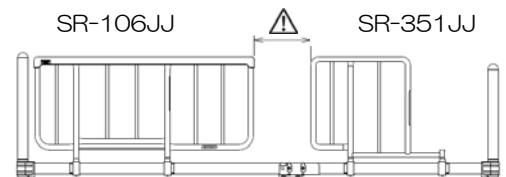
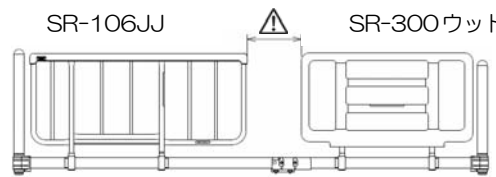
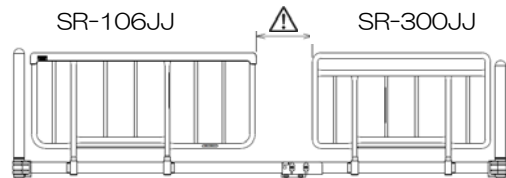
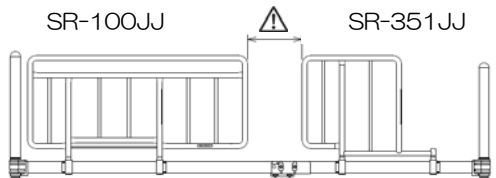
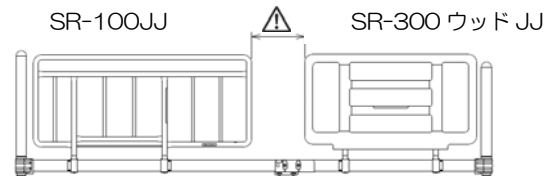
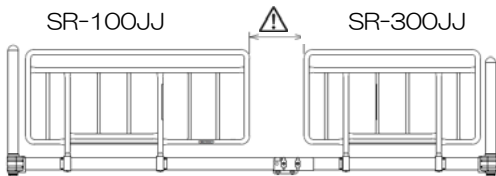
脚側：SR-351JJ


警告

●身体を挟み込む危険性があるすき間が発生するため、使用禁止の組み合わせ。

以下のサイドレールとサイドレール、及びグリップとサイドレールの組み合わせは、並べて使用した時に、身体（頭や首など）を挟み込む危険性があるすき間が発生します。以下の組み合わせでは使用しないでください。

ショートサイズ（FBN-P JJS SU）専用オプションの SR-100JJS 及び SR-W1JJS、またスーパーショートサイズ（FBN-R20SS）専用オプションの SR-100NSS は使用しないでください。

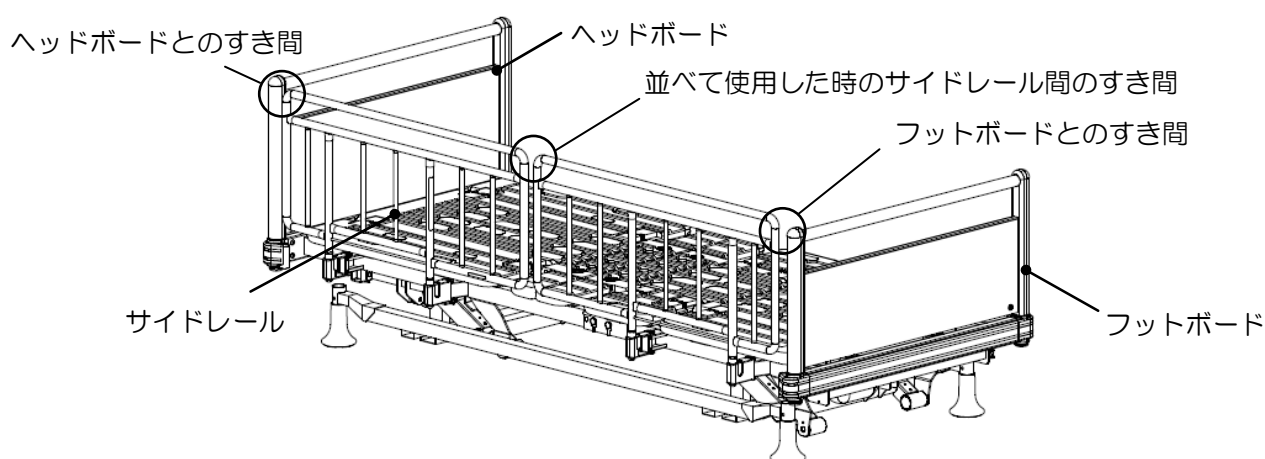


※ は身体（頭や首など）を挟み込む危険性があるすき間です。

※ 図示と頭側、脚側を入れ替えても同じようにすき間が発生します。

8. サイドレールとベッド用グリップの注意事項

- サイドレールとベッド用グリップの共通の注意事項を以下に示します。

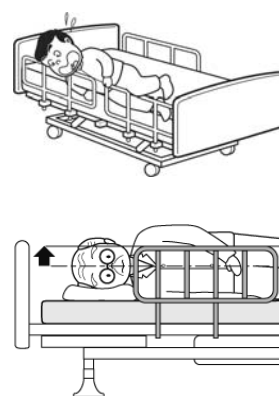


ベッドに設置した場合のすき間に関する注意

⚠ 警告

使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップを乗り越え、ベッドから転落してケガをする可能性があります。特に厚いマットレス（エアマットレスなど）との組み合わせによっては相対的にサイドレール、ベッド用グリップ高さが低くなります。乗り越えないよう注意してください。マットレスは指定の厚さのものをご使用ください。使用者が側臥位（そくがい）の寝姿勢をとったとき、身体の中心線（鼻とへそを結ぶ線）より高くなることを確認してください。








ベッドから転落してケガをするおそれがあります。


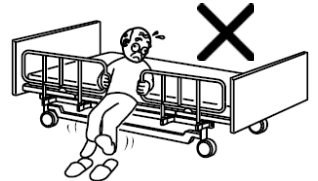




サイドレールやベッド用グリップへの寄りかかりや、身体の圧迫には注意してください。






サイドレールやベッド用グリップへ寄りかかったりすると身体が圧迫されて、傷害や生命の危険にかかわるケガをするおそれがあります。



<p>ベッドとの組み合わせによってはすき間ができます。すき間に身体（手足、首など）を挟まないように注意してください。身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをするおそれがあります。</p> <p>また、使用者の病状や症状に応じてサイドレール、ベッド用グリップには安全グッズや毛布、クッションなどを合わせて使用することをおすすめします。特にご自身で体位を保持できない使用者には十分注意してください。</p>	
<p>サイドレールやベッド用グリップを1本で使用する際はベッドとのすき間があきまますので注意してください。特に身体を保持できない使用者には注意してください。背上げをしたマットレスとサイドレール、ベッド用グリップのすき間に身体がはさまれる可能性がありますので注意してください。</p>	
<p>サイドレールやベッド用グリップを差し込む位置によっては、背上げをしたマットレスとV字形のすき間になる場合がありますので注意してください。</p> <p>身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをするおそれがあります。</p>	
<p>落下防止のため、専用のサイドレールの使用をお勧めいたします。また、落下する可能性の大きい使用者には、側面全体をサイドレールでおおうなどの方法が有効です。</p>	
<p>使用者の就寝時にサイドレール、ベッド用グリップを使用する場合、「サイドレール、ベッド用グリップが立っています。」と声を掛けてください。</p> <p>使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップの存在を忘れる方がいます。就寝前にサイドレール、ベッド用グリップがある事を認識させてください。</p>	
<p>ベッドからの乗り降り時にはサイドレール、ベッド用グリップに注意してください。ベッドからの乗り降り時には足場を確保し、ゆっくりと確実に行動してください。</p> <p>衣服によっては、転倒、転落した際にサイドレールやベッド用グリップに引っかかったり重大事故となるおそれがあります。</p>	
<p>ベッドから降りる際は、なるべく背上げした状態で行ってください。特に足腰に不安がある方はベッド用グリップの併用をおすすめします。</p>	

<p>サイドレールやベッド用グリップのすき間に身体（手足、首など）を入れないでください。背上げなどベッドの操作をするときに、挟まれる可能性があります。</p> <p>特にベッド上で予測できない行動をとる可能性がある方や、自力で危険な状態から回避することができない方などには注意してください。また、こういった方に使用する際は、事故を防止するために、すき間をクッション材や毛布などで埋めてください。清拭やシーツ交換の際も、使用者の手、指の挟み込みに注意してください。</p> <p>挟まれてケガをするおそれがあります。</p>	
<p>サイドレールやベッド用グリップの間から無理に降りたり乗り越えたりすることは絶対にしないでください。</p> <p>重大な事故の原因となります。</p>	
<p>サイドレールやベッド用グリップの上に立ったり、腰掛けたりして無理な力を加えるような異常な使い方はしないでください。また、サイドレールやベッド用グリップをまたいでベッドの乗り降りをしないでください。</p> <p>破損や転倒、転落をして事故の原因となります。</p>	
<p>乳幼児には使用しないでください。乳幼児には必ず乳幼児専用のベッドを使用してください。</p> <p>サイドレール、ベッド用グリップの格子のすき間から転落するおそれがあります。</p>	

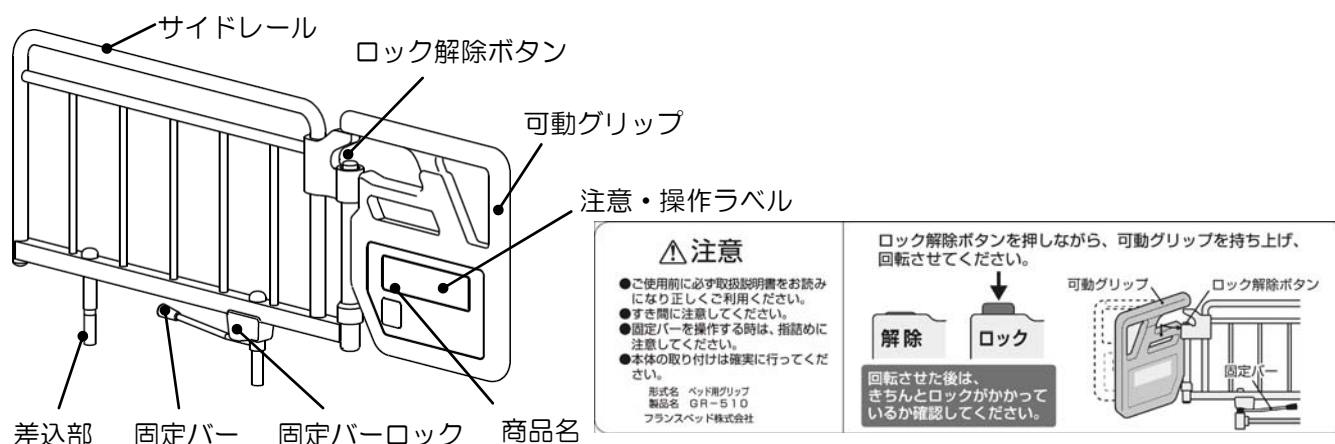
<div style="text-align: center;">  注意 </div>	
<p>サイドレール、ベッド用グリップをベッドに取り付けるときは、必ず 2 箇所差し込んでください。</p> <p>固定が不十分だと、グラツキが発生し事故の原因となります。</p>	
<p>サイドレールの抜き差しは無理せず平行に行ってください。</p> <p>無理に抜き差しを行うと、破損の原因となります。</p>	
<p>長期間の使用等により差し込み部分がゆるくなり不安定になった場合は販売店または弊社お客様相談室に連絡してください。</p> <p>ぐらついたまま使用していると事故の原因となります。</p>	

<p>座位が保てない方の使用は注意してください。</p> <p>背上げをした状態で座位を保持することが困難な方がサイドレール、ベッド用グリップに倒れ込むことにより頸部（けいぶ）圧迫による重大事故の原因となる場合があります。</p>	
<p>サイドレールやベッド用グリップを持って、ベッドを移動するなど無理な力をかけないでください。</p> <p>過大な力が掛かり変形、破損の原因となります。</p>	 
<p>お客様による修理、改造は絶対にしないでください。修理は、販売店または弊社お客様相談室に依頼してください。</p> <p>思わぬ事故の原因となります。</p>	
<p>思わぬケガをしないように、製品に異常がないか定期的に点検してください。</p>	

9. ベッド用グリップ GR-510 の使用方法

● ベッド用グリップ GR-510 の各部の名称

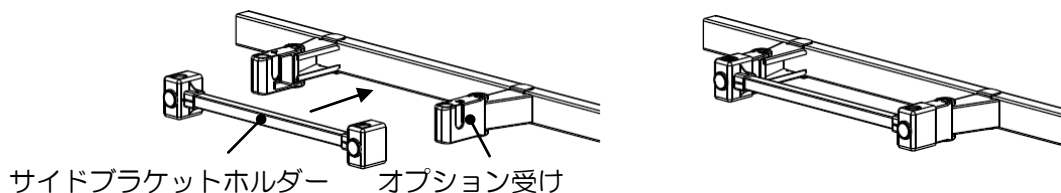
GR-510 の各部の名称を下記に示します。



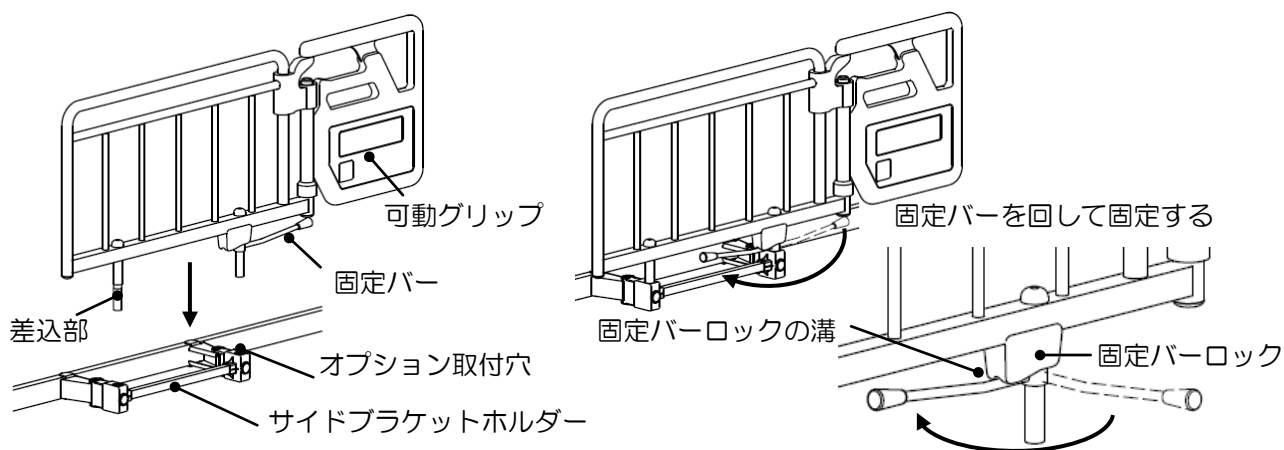
GR-510 の各部の名称

● ベッド用グリップ GR-510 の設置方法

- ① 推奨の取り付け位置は、頭側になります。ベッドの右側に取り付けるが、左側に取り付けるか決めた後、同梱されているサイドブラケットホルダーをベッドのオプション受けに取り付けます。

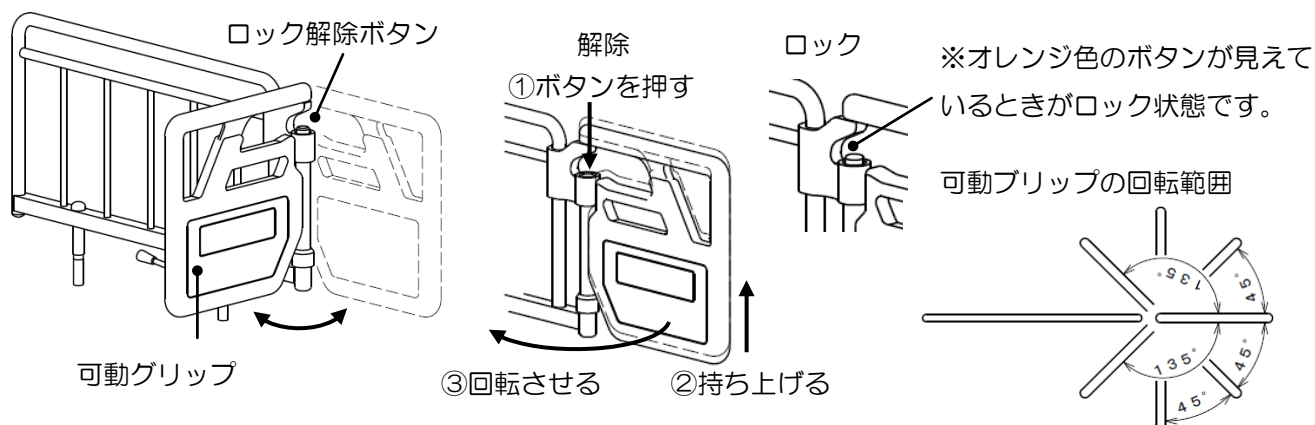


- ② 固定バーを可動グリップ側に回します。差込部をオプション取付穴に差し込みます。
③ 固定バーをサイドレール側に回して、固定バーロックの溝で固定します。



● 可動グリップの操作方法

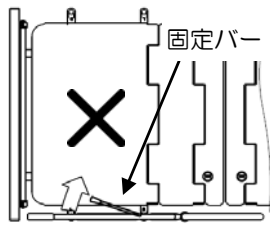
- ① ロック解除ボタンを押すと、可動グリップのロックが解除されますので、押しながら可動グリップを持ち上げ、回転させてください。可動グリップは真っ直ぐと 45° 、 90° 、 135° と回転させた位置で固定することができます。回転させた後は、確実に固定されているか確認してください。



● ベッド用グリップ GR-510 の注意事項

ベッド用グリップ GR-510 の注意事項を以下に示します。

⚠ 警告	
<p>ベッドの上から操作する際は転倒に注意してください。操作がうまくできない方、足腰が不安定な方の使用の際には、転落、転倒等の事故を防止するためにも、介助者が付き添った上でご使用ください。</p> <p>操作時に誤って転落し、ケガをする恐れがあります。</p>	⚠
<p>固定バーは確実に固定バーロックの溝にはまっていることを確認してから使用してください。</p> <p>固定が不十分だと、本体がベッドフレームから外れる可能性があります事故の原因となります。</p>	⚠
<p>可動グリップが確実に固定されていることを確認してから使用してください。</p> <p>固定が不十分だと、可動グリップが不意に回転し、転倒、ケガをする恐れがあります。</p>	⚠
<p>45° で固定したとき、マットレスと可動グリップにV字形のすき間ができますので注意してください。</p> <p>身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをする恐れがあります。</p>	⚠

⚠ 注意	
<p>操作のときに、手指を挟まないように注意してください。</p> <p>ケガや事故の原因となります。</p>	⚠
<p>可動グリップを回転させるときは、手指を挟まないように注意してください。</p> <p>すき間により、手指が挟まれる恐れがあります。</p>	⚠
<p>可動グリップを固定する角度（0°、90° 以外の場合）によっては、ベッドとのすき間が大きくなる場合があります。十分注意して、使用してください。</p> <p>事故や破損の原因となります。</p>	⚠
<p>固定バーを回して固定する際は、サイドレールの位置よりも、マットレス側に回さないでください。</p> <p>固定バーを回しすぎると背上げ動作時に、背ボトムと干渉して事故や破損の原因となります。</p>	
<p>可動グリップは、マットレス側には回転させないでください。</p> <p>事故や破損の原因となります。</p>	⊘

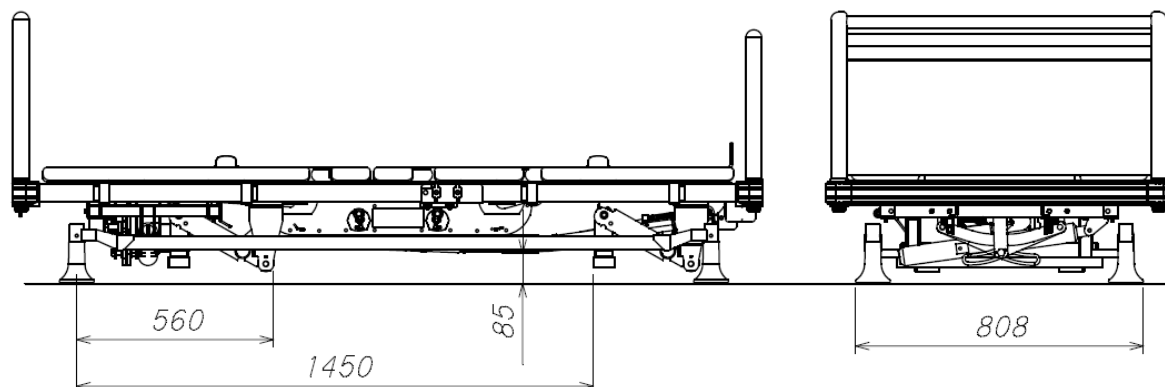
10. サイドレールとベッド用グリップのメンテナンス情報

サイドレール及びベッド用グリップに下記の異常が見られた場合、ただちに使用を中止し、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。

- 差込部分が異常にぐらぐらする。
- ベッドから容易に外れる。
- 移動バーが正しく固定できない。
- 固定を解除できない。
- そのほか異常と思われる場合。

5. リフトの利用について

- ベッド頭側からリフトをご利用になる場合は、ベースフレームの脚部を逃げる幅寸法は約808mmです。
- ベッド側面からご利用になる場合は、ベースフレーム頭側の脚部から 560mm～1450mm の範囲で、床面からの高さは、85mm となります。
- ご利用できないリフトもありますので、販売店に相談してください。
- ご利用の際は、リフトに添付されておりますリフトの取扱説明書に従ってください。



6. マットレスについて

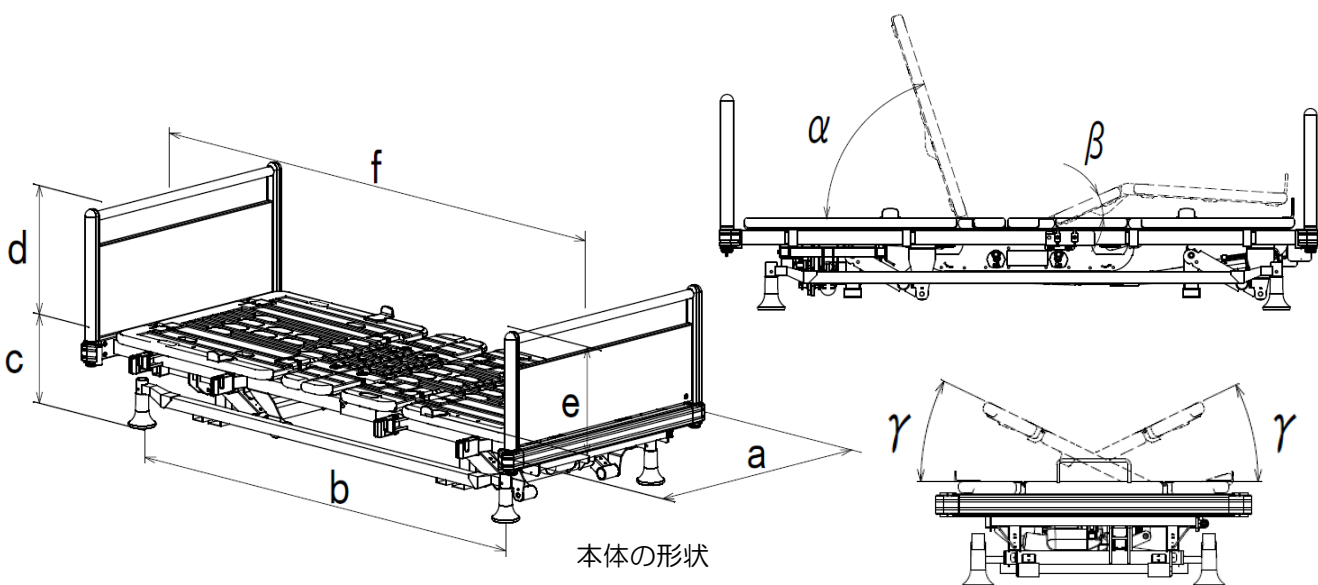
1. 適合するマットレス

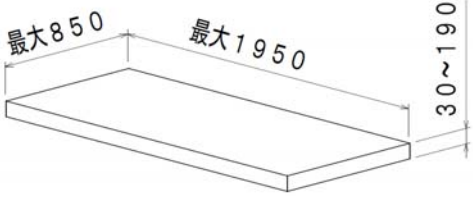
- 本製品に推奨するマットレスは以下の型式の850mm幅サイズとなります。商品名とサイズをご確認ください。

推奨マットレス	<ul style="list-style-type: none"> ・SF-Pro エスエフプロ ・インテグラメッド ・UF-71
---------	---

適合 マットレス 寸法		<p>最大幅：850mm 最大長さ：1950mm 最低厚さ：30mm 最大厚さ：190mm</p>
-------------------	--	--

7. 仕様

電気定格	定格電圧	AC100 V
	定格周波数	50/60 Hz
	定格消費電力	130W（連続使用時間 2 分）
ベッド寸法	a：幅（最大外径寸法）	972mm
	b：脚座間の長さ （脚部の取り付け位置の距離）	1780mm
	c：ボトムの高さ （床からボトム上面まで）	320～660mm （ストローク：340mm）
	d：ボトム上面からヘッドボード （フレーム）の上端まで	436mm
	e：ボトム上面からフットボード （フレーム）の上端まで	386mm
	f：長さ（最大外径寸法）	2107mm
背部、脚 （ひざ）部	α ：背部の最大傾斜角度	72°
	β ：脚（ひざ）部の最大傾斜角度	24°
寝返り	γ ：寝返りの最大傾斜角度	左右 25°（自動運転時 10°）
 <p>本体の形状</p>		
材質	フレーム	鋼管、鋼板、エポキシ樹脂粉体塗装 樹脂成型品
	ボトム	鋼管、鋼板、エポキシ樹脂粉体塗装 抗菌剤入ポリプロピレン樹脂
電源コード長さ		頭側より 2.5m

重量	FBN-640 AN29JJ	105 kg
	FBN-640 AN30M	108 kg
	FBN-640 ANB29JJ	105 kg
	FBN-640 ANB30M	108 kg
	FBN-640 ANT29JJ	110 kg
	FBN-640 ANT30M	113 kg
キャスター		双輪φ100mm キャスター 取り付け高さ 115mm 樹脂成型品
コティアシ 29JJ		取り付け高さ 115mm 樹脂成型品
安全使用荷重		1700N
対応 マットレス の厚さ、重量		最低厚さ：30mm 最大厚さ：190mm 重量：20kg 以下 ※

※マットレス重量が 20kg を超える場合は、使用者の体重との合計が 155kg 以下で使用してください。ただし使用者の制限体重は 135kg です。





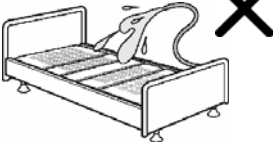



手動運転 手動運転（制限） の設定項目	動作速度 （全ストローク動作時）	背上げ	1 速（約 42 秒）
			2 速（約 22 秒）
		高さ（昇降）	1 速（約 63 秒）
			2 速（約 43 秒）
		寝返り （※水平～最大角度）	1 速（約 80 秒）
			2 速（約 42 秒）
			3 速（約 22 秒）
	操作禁止	背上げ、脚上げ、昇降、寝返りの動作ごとに操作禁止設定有り（ON/OFF）	
	音でお知らせ	背上げ	0～72°
		高さ（昇降）	32～66cm
		寝返り	左右 0～25°

自動運転 の設定項目	運転時間	10 分～24 時間	
	運転パターン	標準（設定固定）、 オリジナル 1、オリジナル 2（設定変更可能）	
	運転パターン オリジナル 1、2 の設定内容	動作速度	1～3 速
		動作モード	左右両側、左のみ、 右のみ
		開始動作	左、右、水平の何れか
		左寝返り各動作角度	5～10°
		右寝返り各動作角度	5～10°
		左寝返り停止時間	2 分～6 時間
		右寝返り停止時間	2 分～6 時間
		水平 1 停止時間	2 分～6 時間
		水平 2 停止時間	2 分～6 時間


8. お手入れ方法



ベッドをお手入れするときは、下記に注意して行ってください。

⚠ 警告

<p>お手入れの前には、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>感電するおそれがあります。</p>		
<p>電源プラグにホコリが付着しないように、定期的にコンセントから抜いて、乾いた布で刃およびその取り付け面を拭いてください。</p> <p>電源プラグにホコリが付着していたり、コンセントにしっかり差し込まれていないと感電や火災の原因になります。</p>		
<p>お手入れの際、直接、水をかけて洗わないでください。</p> <p>感電、異常動作の原因になります。</p>		
<p>ご自身で分解、修理、改造はしないでください。</p> <p>火災、感電、異常動作の原因になります。</p>		

⚠ 注意

<div>⚠ 注意</div>		
<p>定期的に点検を行ってください。ネジ類がゆるんでいる場合は締めなおしてください。 また、破損状態での使用を避けてください。 事故の原因となります。</p>		
<p>ベッドを保管するときは、背ボトムと脚ボトムを平らにし、ベッドを一番低い位置にしてください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。 下げた位置で保管しないと故障の原因となります。</p>		
<p>汚れを拭き取るのに、シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤を含んだものおよび、研磨剤、漂白剤などは使用しないでください。市販のクリーナーを使用するときは、一度目立たない所で試してから使用してください。 変色、変質、商品を傷める原因となります。</p>	<div></div>	

<p>高温、多湿、ほこりの多い場所で保管しないでください。 故障の原因となります。</p>	
<p>ベッドは横に倒したり、立てかけたりしないでください。 事故や故障の原因となります。</p>	

- ベッドフレームは、乾いた柔らかい布で拭いてください。しつこい汚れがある場合は、家庭用クリーナー、または石鹼水で拭き取り、その後で乾いた布で拭いてください。揮発性のものは絶対に使用しないでください。変質、変色の原因となります。
- ベッドフレーム（木製部分含む）は水拭きせず、乾いたやわらかい布で拭いてください。
- ネジ類がゆるんでいないかどうか、定期的を確認してください。ゆるんでいたら、締めてください。
- 手元スイッチを清掃するときは、必ず電源を抜いてください。溶剤や、洗剤の原液を使用せずに、中性洗剤を薄めて硬く絞った布で拭いてください。十分乾燥時間をおいた後に電源プラグをコンセントに差し、必ず動作確認を行ってください。
- 電源プラグにホコリが付着しないように、定期的にコンセントから抜き、乾いた布で刃および取り付け面を拭いてください。

長期にわたり使用する電動ベッドとサイドレール等の付属品の本来の性能を維持するには、適切なメンテナンスが必要になります。ベッドの状態を一番よく把握しなければならないのはご購入者様ご自身であり、日頃の点検等の適切な管理が必要となります。

多くの部品の集まりであるベッドは、使用するにつれてその時間の経過とともに部品の劣化や磨耗が進みます。点検を行うことにより、大きなトラブルを防止し安心して使用することが出来ます。

1. 外観点検項目

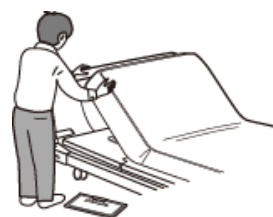
目視あるいは手で外観の傷や変形などを確認する点検です。

- ヘッドボード、フットボード、ボトム、脚部、サイドレール、ベッド用グリップに異常がないか確認します。
- サイドレールが変形し想定以上のすき間になっていないか確認します。
- ネジ、ピン、抜け止め部品などが確実に取り付けられているか確認します。
- ラベルが貼り付けられているか、取扱説明書が保管されているか確認します。
- 電装部品（手元スイッチ、設定コントローラ、モーター）のコードやケースに損傷があるかを確認します。

2. 作動点検項目

本体をコンセントに接続し手元スイッチにより各種動作を行います。

- 画面やランプは仕様通り表示するか確認します。
- 機能通り動作するか確認します。
- 動作時に異音の発生がないか確認します。
- キャスターが正常にロック、解除するか確認します。

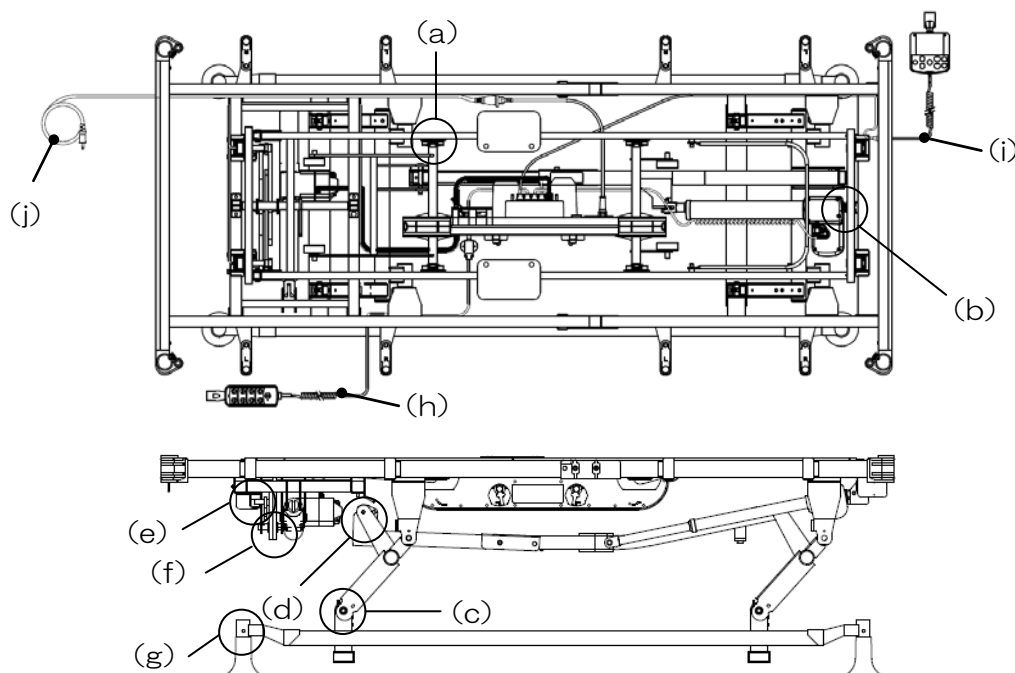


ベッドの使用中や点検時に不具合を発見された時には、まずはベッドのご使用を控えるか、使用を一時中断し、速やかに販売店又は弊社お客様相談室に故障状況を報告し、修理を依頼することが適切です。

ご自身による故障の修理等は絶対に行わないでください。

3. 点検及び調整

長期にわたってより安全にご使用頂く為に、以下の項目を点検及び調整を行ってください。



グリスアップ

可動部にグリスを塗ります。基本的には異音が発生しなければその必要はありません。

- (a) ギャッチモーターの回転箇所（4箇所）
- (b) リフトモーターを接続しているピン（2箇所）
- (c) ハイローリンクとベースフレームを接続しているピン（4箇所）
- (d) レンケツバーとハイローリンクを接続しているピン（2箇所）
- (e) ガイドアームの左右のピン（2箇所）※寝返り時に軸になる部分
- (f) リンクアームの長穴（2箇所）※寝返り時に交差する部分

ネジの点検

使用条件によってはネジがゆるみ、ベッドがぐらつくことがあります。以下のネジ部を点検してください。

- (g) 脚部（コテイアシ、キャスター）取り付けネジ（4箇所）

コードの確認

各種コードが損傷していないか確認してください。

- (h) 手元スイッチのコード
- (i) 設定コントローラのコード
- (j) 電源コード

10. 消耗部品

ベッドは保守部品と消耗部品で構成されています。保有期間は製造販売終了（中止）後 8 年です。このベッドの主な消耗部品は以下の部品です。使い方によっては、使用期間が短くなる場合があります。

部品名称	想定される故障の原因
手元スイッチ 設定コントローラ (コードを含む)	<ul style="list-style-type: none">● サイドレールに巻き付けるなどしてコードに想定以上の荷重が加わったため、コードが断線する。● 床に落とした状態で引きずったため、コードが断線する。● コードを踏んだため、コードが断線する。● 指以外で操作したため手元スイッチ、設定コントローラが破損する。● 強い衝撃を与えたため、設定コントローラの画面が破損する。
電源コード	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードをコンセントにつないだ状態でベッドを移動したため、コードが断線する、電源プラグが破損する。
モーター	<ul style="list-style-type: none">● 安全使用荷重以上の状態で使用したため、モーターが破損する。
各種ピン類	<ul style="list-style-type: none">● 想定以上の荷重の繰り返しや油切れのため、各種ピン類が磨耗する。
キャスター	<ul style="list-style-type: none">● ロックを掛けた状態でベッドを強制的に動かしたため、キャスターが破損する。● 移動中にブレーキ代わりにロックを使用することにより、ロック機構が破損する。

11. 耐用期間


耐用期間とは消耗部品の交換や修理を繰り返し行うことで品質、安全性が維持できる期間です。指定された保守点検を実施し、指定された使用条件下で使われた場合の耐用期間は8年です。但し保守点検状況により差異が生じることがあります。

※ 耐用期間は保証期間ではありません。


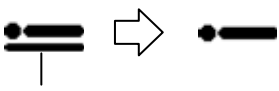
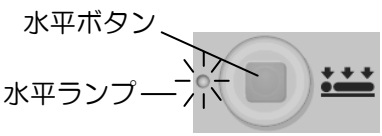
12. こんなときには

ベッドが動かない場合、修理を依頼する前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。

1. チェック項目

症状	チェック項目	対処方法
手元スイッチのボタンを押してもベッドが動かない。 (全ての動作が操作できない)	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	設定コントローラの画面で <u>全ての動作に操作禁止マーク</u>  が表示されていませんか？	手元スイッチが差し込まれていないなど、接続に問題があります。確実に接続されているか、コードに破損はないか確認してください。
	設定コントローラの画面左上にエラーコードが表示されていませんか？	別途エラーコード表を確認してください。
	差込口から手元スイッチコードの先端が外れていませんか？	手元スイッチコードの先端を差込口に差し込んでください。
	電源コード、手元スイッチのコードは破損していませんか？	電源コード、手元スイッチのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。電源プラグをコンセントから抜き、修理の依頼をしてください。
	手元スイッチの裏側の安全スイッチのマークがOFFの位置になっていませんか？	切替レンチで、安全スイッチのマークをONの位置にしてください。
	ベッドが自動運転中ではありませんか？	自動運転中は手元スイッチでの操作はできません。一時停止してから操作を行ってください。
	操作している動作が操作禁止設定になっていませんか？	設定コントローラで操作禁止の設定を解除してください。
	手元スイッチのボタンを同時に2つ押していませんか？	各ボタンを1つずつ押してください。

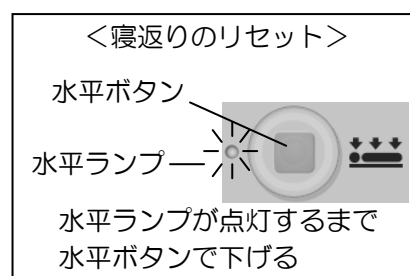
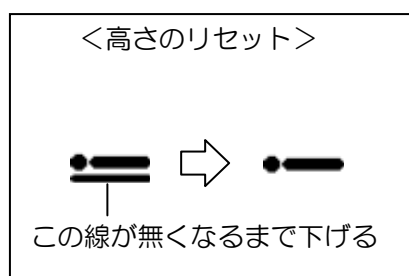
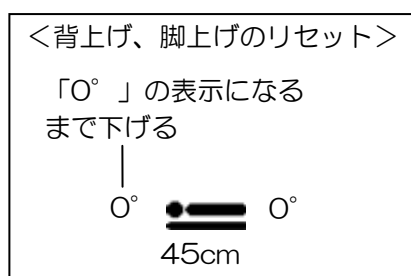
症状	チェック項目	対処方法
手元スイッチのボタンを押してもベッドが動かない。 (指定の動作をしない)	手動運転モードで背や脚ボトムが上がった状態で、寝返り動作ボタンを操作していませんか？	水平ボタンを押して、一旦ベッドを水平にしてから、寝返り操作を行ってください。
	手動運転モードでボトムが左右に傾斜した状態で、背上げ、脚上げ動作ボタンを操作していませんか？	水平ボタンを押して、一旦ベッドを水平にしてから、背上げ、脚上げ操作を行ってください。
	緊急時の解除レバーが「解除」になっていませんか？	解除レバーを戻してください。
	設定コントローラの画面左上にエラーコードが表示されていませんか？	別途エラーコード表を確認してください。
	ベッドが過負荷になっていませんか？	安全使用荷重を超えた荷重で使用する、安全機能で停止します。安全使用荷重を確認して使用してください。
	ベッドの定格時間を越えて連続使用していませんか？	定格時間を越えて連続使用すると、安全機能で停止します。十分時間をおいてから、使用してください。
	ベッドの周囲に障害となるものがありますか？	障害となるものを取り除いてください。
水平な状態から寝返り動作ボタンを押しても、ボトムが上がってこない。	頭側にある寝返りモーターは動作していますか？ 寝返り動作の速度設定が一番遅くなっていますか？	ボトムが水平の状態から寝返り動作ボタンを操作した際、ボトムが動き始めるまでに数秒かかる場合があります。特に速度設定が遅い場合に時間がかかります。これはベッドの機構上、ボトムが水平な状態でもモーターが一定距離動作するため異常ではありません。 ボタンを押しても寝返りモーターが動作していない場合は、修理を依頼してください。
自動運転中にベッドが動作していない。	設定コントローラの画面左上にエラーコードが表示されていませんか？	別途エラーコード表を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
設定コントローラの画面の 背上げ、脚上げ角度表示と 実際のボトムの角度が違 う。	緊急時の解除レバーを操作し ましたか？ 設定コントローラの画面を確 認しながら、表示のリセット操 作をしてください。  0° の表示になるまで下げる	解除レバーを操作した後など に、表示角度にズレが発生する 場合があります。画面の表示角 度が 0° になるまでモーター を下げてください。0° の表示 になるとズレがリセットされ ます。改善されない場合は修理 を依頼してください。
設定コントローラの画面の 高さ表示と実際のベッド高 さが違う。	設定コントローラの画面を確 認しながら、表示のリセット操 作をしてください。  この線が無くなるまで下げる	モーター動作中に電源プラグ が抜けた際などに、高さ表示に ズレが発生する場合があります。 画面の人の下の線が消える まで、モーターを下げてくださ い。線が消えるとズレがリセッ トされます。改善されない場合 は修理を依頼してください。
設定コントローラの画面の 寝返り角度表示と実際のボ トムの角度が違う。	ボトムが左右に傾斜した状態 で、水平ランプが点灯するまで 水平ボタンを押して下げてく ださい。 	モーター動作中に電源プラグ が抜けた際などに、画面の表示 角度にズレが発生する場合が あります。傾斜した状態から水 平ボタンで下げるとズレがリ セットされます。改善されない 場合は修理を依頼してくださ い。
ボトムが水平にならない。	ボトムとサイドフレームの間 に掛け布団や毛布などが挟ま れていませんか？	ボトムを少し持ち上げ、挟まれ た物を取り除いてください。
	背上げや寝返り動作をした際 に、ボトムとフレーム間に物が 挟まれていますか？	ボトムを少し持ち上げ、挟まれ た物を取り除いてください。
	組み立てが正しく行われてい ますか？	正しく組み立て直してくださ い。
ベッドが昇降しない。	リフトモーターの連結コード がモーターに確実に差し込ま れていますか？	リフトモーターの連結コード をモーターに確実に差し込ん でください。
手元スイッチのボタンを押 すと、パイロットランプが 点滅する。	販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。	

症状	チェック項目	対処方法
ベッドがガタつく。	ネジがゆるんでいませんか？	取り付けネジを確実に締めてください。
	ヘッドボード、フットボードは正しく取り付けられていますか？	ヘッドボード、フットボードを正しく取り付け直してください。
	抜けている固定ピンなどはありませんか？	抜けている固定ピンなどがなければ確認してください。抜けている場合は、確実に差し込んでください。
	キャスターはロックされていますか？	キャスターを確実にロックしてください。
ベッドの動きが正常でない。	ベッドは確実に組み立てられていますか？	販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。
ベッドが移動できない。	キャスターがロックされたままになっていませんか？	ロックを解除してください。
	ベッドが壁に押し付けられたり、傾斜面のある床にベッドを設置していませんか？	キャスターに無理な力が掛からない状態にしてください。
SDカードにデータが書き込めない。 (エラーが表示される)	SDカードは確実に挿入されていますか？	SDカードの挿し込みを確認してください。引き続きエラーが出る場合は、SDカードを交換してください。

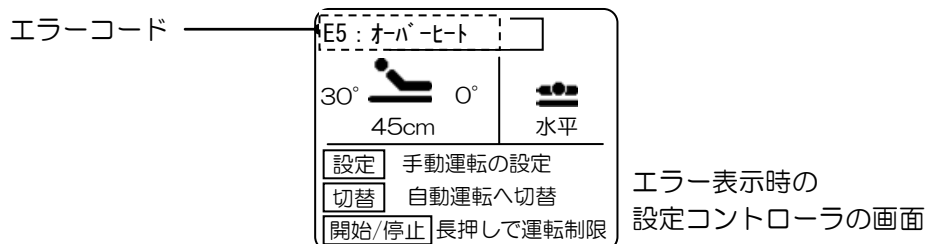
2. 角度、高さ表示のリセット

緊急時の解除レバーを使用する、モーター交換する、モーター動作中に誤って電源プラグを抜くなどした際に、実際の角度や高さと画面の表示の数値にズレが生じる場合があります。その際、該当するモーターを原点まで下げるとズレがリセットされます。背上げ、脚上げ角度については表示が「0°」になるまで、高さは人の下の線が消えるまで下げてください。寝返りはボトムが左右に傾斜した状態から、水平ランプが点灯するまで水平ボタンを押して下げてください。(寝返りの左右ボタンで水平に戻した際は、リセットはかかりません)



3. エラーコード

ベッドに何らかの異常が発生したり、過負荷や連続運転に対する保護機能が働いて動作制限がかかった際、設定コントローラ画面左上にエラーコードを表示し、内容を通知します。



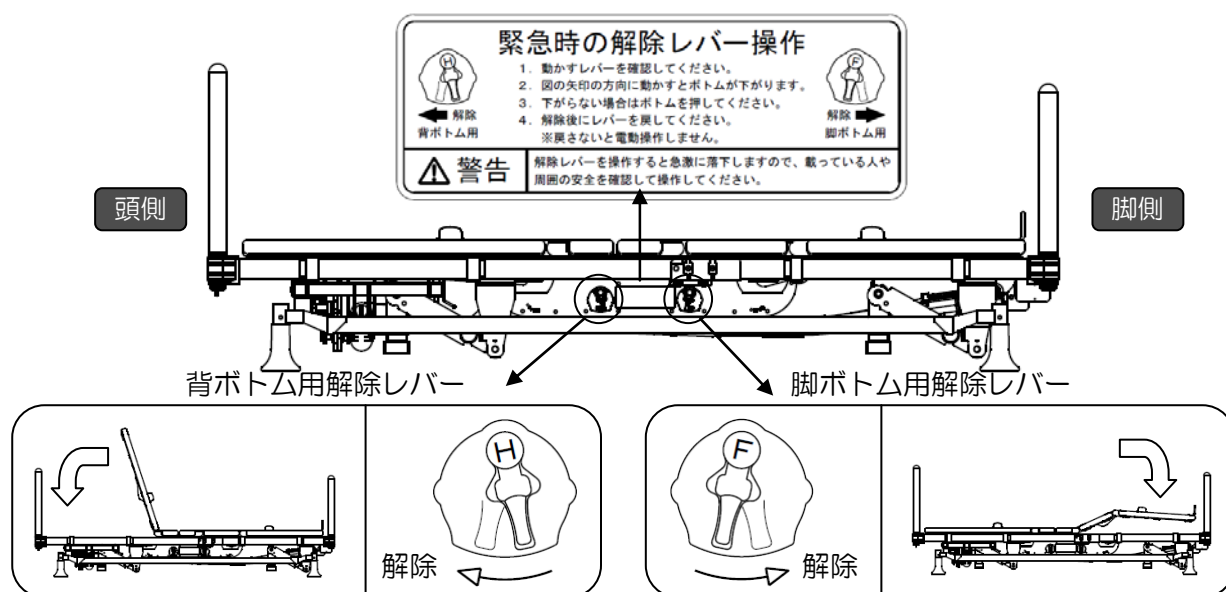
エラーコード	内容	対処方法
E1 ツウシンエラー	通信異常により停止	設定コントローラの差込不良、または断線等の故障が発生した可能性があります。電源リセット後、接続確認及び動作確認し、再びエラー表示が出る場合は修理を依頼してください。
E5 オーバーヒート	連続運転に対する動作制限により停止	定格時間を越えて連続使用すると安全機能で停止します。十分時間をおいた後、使用してください。
E6 オーバーロード	過負荷に対する動作制限により停止	安全使用荷重を超えた荷重で使用すると、安全機能で停止します。安全使用荷重を確認して使用してください。
E7 ソクドエラー	速度異常が発生し停止	何らかの原因でモーター速度異常が発生し、停止しています。電源リセット後、動作確認し、再びエラー表示が出る場合は修理を依頼してください。
E11 アタマモータセイギョ	制御回路、またはモーターの故障により停止	制御回路で何らかの異常を検知したため、停止しています。電源リセット後、動作確認し、再びエラー表示が出る場合は修理を依頼してください。
E12 アシモータセイギョ		
E13 タカサモータセイギョ		
E14 ネガエリモータセイギョ		
E21 アタマモータエンコーダ	モーター位置検出に関する異常により停止	モーターのロック、もしくは断線等の故障が発生した可能性があります。電源リセット後、動作確認し、再びエラー表示が出る場合は修理を依頼してください。
E22 アシモータエンコーダ		
E23 タカサモータエンコーダ		
E24 ネガエリモータエンコーダ		
E31 アタマモータリミット	モーターのリミットスイッチ異常により停止	ハイローモーター、寝返りモーターが未接続の場合、またはモーターのリミットスイッチの故障の可能性あります。接続確認後、エラーが表示される場合は修理を依頼してください。
E32 アシモータリミット		
E33 タカサモータリミット		
E34 ネガエリモータリミット		
E39 ネガエリリミットスイッチ	ボトムの左右傾斜を確認するリミットスイッチの異常により停止	リミットスイッチコードがメインモーターに接続されているか確認してください。確実に接続された状態でエラーが出ている場合は修理を依頼してください。

13. 停電や故障で背や脚が起きたまま停止してしまったとき

停電や故障により背ボトムや脚ボトムが起きたまま停止してしまった場合に、上がっている背ボトムや脚ボトムを水平位置に戻すことができます。（※昇降、寝返りは解除できません）

解除レバーの操作方法

- ① 作業を始める前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② 解除レバーはベッド頭側からみて右側、ギャッチモーター側面にあります。頭側が背ボトム用解除レバー、脚側が脚ボトム用解除レバーになります。
- ③ 解除レバーを操作する際は、なるべくベッドに人がのっていない状態で行ってください。のっている方がいる場合は、解除レバーを操作した後に急激にボトムが落下しないよう、一人がボトムを支えた状態で、別の方が解除レバー操作を行ってください。
- ④ 背ボトムを水平にする際は、背ボトム用解除レバーを左に回してください。脚ボトムを水平にする際は、脚ボトム用解除レバーを右に回してください。解除レバーは奥までしっかり回してください。
- ⑤ 解除レバー操作後、ボトムを上から押し下げてください。
- ⑥ ボトムを水平に戻した後は、解除レバーを元に戻してください。戻さないと次にご使用になるときに動作しません。



⚠ 警告

解除レバーを操作するとボトムが急激に落下することがありますので、のっている人や周辺の安全を確認して操作してください。

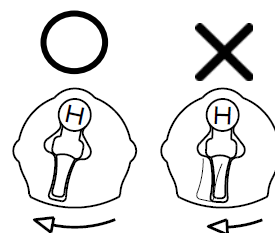


⚠ 注意

解除レバーは緊急時用です。緊急時以外はご使用にならないでください。



背ボトムや脚ボトムの角度によっては、解除レバーの操作が固い場合がありますが、奥までしっかり回してください。
解除レバーが回しきれない状態では、ボトムは下がりません。



解除レバーを使用した後は、解除レバーを元に戻してください。さらに背上げ、脚上げの角度表示が「0°」になるまで下げてください。

解除レバーを戻さないと次にご使用になるときに動作しません。

緊急時の解除レバーを使用すると実際の角度と設定コントロールの表示の数値にズレが生じる場合があります。角度表示が「0°」になるまで下げると正常な表示に戻ります。



14. アフターサービスについて

保証書および保証期間について

- 保証書
所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に修理を依頼される場合
保証書の記載内容に従って修理致します。
- 保証期間を過ぎて修理を依頼する場合
修理すれば使用できる場合は、希望により有料で修理致します。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に取扱説明書をよく読み、再度点検の上、なお異常がある場合は、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。

ご連絡いただきたい内容・・・住所、氏名、電話番号、型式名、販売店、
お買い上げ日、故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

お客様相談室

弊社の商品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたら、販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。

お客様相談室



フリーダイヤル：0120-39-2824

受付時間：月～金曜日 9時～12時 13時～17時

（土、日、祝祭日、年末年始、弊社指定の休日などは除く）

製造元：フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148

15. 保証書

保証書

保証期間	1 年
お買い上げ日	平成 年 月 日

お客様	ご芳名
	〒□□□-□□□□
	ご住所
	TEL

販売店	店名・住所
-----	-------

保証の対象

本体のみ行います。

保証の態様

- (1) 保証期間内において、この製品に製品上の欠陥が発見された場合には無償修理をいたします。
- (2) ご用命の際は、お買い上げの販売店又は相談窓口にご連絡下さい。
- (3) 遠隔地等については、旅費を申し受けることがあります。

保証を受けるための条件

保証を受けるためには、保証書及び納品書又は領収書を提示して下さい。

※ 本保証書と納品書又は領収書を併せて保管をお願いします。

保証の適用除外

- (1) 保証書及び納品書又は領収書のご提示がなかった場合。
- (2) 誤使用或いはお取扱い上の不注意や過失によって故障が生じた場合。
- (3) 本製品をご使用者自身又は他業者により変造・改造された場合。
- (4) ご購入後の移動・輸送によって故障又は損傷が生じた場合。
- (5) 火災・天災・地変によって故障又は損傷が生じた場合。
- (6) 本製品の製造上に起因した欠陥であるか、確認できない場合。

※ 上記項目については有償修理になります。

法的責任 この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は相談窓口にお問合わせ下さい。

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148 TEL 042(543)111(大代表)

